

地方創生推進タイプ (先駆型・横展開型・Society5.0型)

事業概要【いしかり・ライフstyle魅力発信・若者地元定着促進事業】

推進当初

申請者	北海道ほか5自治体※	初回採択回	令和2年第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	242,949千円(48,667千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的(効果)	・圏域在住の大学生等の若者に対する地域への愛着醸成や企業認知度の向上を図る。 ・圏域企業の採用力強化やワークライフバランスの取組等への支援を図る。 ・東京圏に対して優位性を持つ圏域ならではのライフスタイルの発掘発信や多様な働き方の選択肢を提示する。 ・官民連携のもと地域の総力を発揮し取組を実施することで、若者の地元定着・人材還流・関係人口の創出をめざす。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○札幌圏地元定住促進協議会開催 ・取組の効果検証など 事務費289千円 ○圏域ならではの多様な選択肢の提示 ・起業者向けセミナー、起業家交流会、内定者向け研修など ・委託料15,979千円、補助金405千円、事務費208千円 ○多様な人材の多様な働き方の実現 ・インターンシップや合同企業説明会、ワークライフバランスや若者人材の育成推進に向けた企業支援など ・委託料23,249千円、補助金100千円、事務費175千円 ○大学生等の地元理解の促進 ・学生の地域活動支援、高校生の地元企業見学など ・委託料7,501千円、補助金225千円、事務費536千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 管内若年層(15~29歳)の首都圏への転出超過数(▲336人) ② 学生等の事業参加者数(+359人) ③ セミナー等事業参加企業数(+202社)		関連URL https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/csr/jinkou/kyogikai19.html

※北海道、北海道札幌市、北海道千歳市、北海道恵庭市、北海道北広島市、北海道石狩市の広域連携事業

事業概要【先端技術で支える持続可能な北海道の一次産業・暮らし（担い手の育成確保による基幹産業の維持・発展）】

推進当初

申請者	北海道	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	448,758千円 (97,712千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	一次産業の持続的発展と担い手確保に向け、スマート農林業やICTを活用したコンブ生産、農業・工業高校での遠隔授業の実践などの取組により、地域に住み、働き続けられる環境を整備する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○次世代と創り上げる持続可能な農山漁村 ・学生が地域と協働で新しいスマート農業の技術など、地域の将来を支える人材の育成・定着に向け、学校と地域をつなぐ専門人材を配置・活用した探究的な学びの実施（事務費 13,403千円） ・若い担い手の経験不足を補い生産性を向上させるため、先人の知恵と先端技術で支援（補助金 30,044千円 負担金 1,244千円 委託費 30,491千円 事務費 9,128千円） ○次世代が住み、働き続けられる環境の整備 ・若者が地元で学び続けられるよう、ICT技術を活用し、全道の学校を繋いで実施する地域課題解決ワークショップ（事務費 2,178千円） ・企業と地元農業者等による2次・3次産業の雇用創出と、地元加工業等の雇用ミスマッチ解消に向けた相互理解のための意見交換（委託費 9,474千円 事務費 1,750千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①1次産業新規参入者数（+2,804人） ②農・工業高校での就職者のうち、高校卒業後、道内農・工業関連就業率（+10%） ③農山漁村地域の若者地元定着率（地域連携特別校・離島の高校が存在する市町村における地元管内進学率）（+4.23%）	関連URL	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/s/s/csr/jinkou/kyogikai19.html



事業概要【ものづくり企業のデザイン力向上による持続可能な都市創造プロジェクト】

推進当初

申請者	北海道旭川市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	269,648千円(63,905千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・デザイン思考で地域の課題解決が出来る人材の育成を図る。 ・デザイン経営視点での地域商社機能の強化と活用による販路の拡大を図る ・中小企業に向けたデザイン思考普及のためのPR事業及びイベント等の開催による普及啓発を図る ・デザイン経営実践企業による新製品や新技術、新ビジネス創出を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○AIやIoT、デザインによる新ビジネスのモデル事業を創出するため、起業、創業やビジネスプランの作成など、各段階に応じた連続的な伴走的支援体制を強化（負担金、委託）4,933千円 ○中小企業の域外からの稼ぐ力を強化するため、デザイン経営の視点を取り入れる商品開発や技術開発、販促活動に対し支援（補助金）9,039千円 ○「デザイン力」を、ひとりひとりの専門性に広げていくため、チーフデザインプロデューサーを配置し、デザインの視点から地域の課題解決やデザインプロデューサーのキャリアアップを支援（委託料）16,844千円 ○デザインの交流拠点を支援し、デザインプロデュース人材のスキルアップ及び中小企業に対するデザインの相談体制、事業者間の交流の促進（負担金）9,162千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①デザイン経営実践企業数（+150社） ②海外進出企業数（+150社） ③セミナーの参加者数（+18,500人） ④新商品開発件数（+120件）	関連URL	https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/700/735/76011/index.html （まち・ひと・しごと創生総合戦略HP）



事業概要【青少年ICTパークプロジェクト】

推進当初

申請者	北海道旭川市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	221,814千円 (24,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・eスポーツを核とした中心市街地の活性化や、観光体験事業等による観光客の滞在時間・期間の増加を図る。 ・若者がAIやICTなどの先端技術に興味を持ち、集い、学ぶ機会を創出し、Society5.0時代の人材確保を図る。 ・IT企業等の誘致、サテライトオフィスの設置や、地域中小企業のAIやRPAの導入により、地域経済の活性化を図る。 ・eスポーツやプログラミング体験をきっかけに、ひきこもりとなっている青少年の社会復帰も目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○eスポーツ拠点の管理・運営 eスポーツスタジアム、トレーニングルームの運営、eスポーツ大会やICT観光体験等の実施 ・運営管理費等 4,000千円 (一部自主財源にて対応) ・機器整備費 (リース) 17,000千円 ○プログラミング学習拠点の管理・運営 IT企業や大学・高専等を連携したプログラミング学習拠点の運営 ・運営管理費等 (自主財源にて対応) ・機器整備費 (リース) 3,000千円 ○ICT人材等育成拠点の設置 ※交付金対象外 ・IT企業誘致PR活動 ・IT企業のサテライトオフィス、シェアリングオフィスの設置    		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①情報通信業就職者数 (+32人) ②企業立地件数 (+34件) ③観光宿泊延数 (+217千泊)	関連URL	https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/700/735/76011/index.html (まち・ひと・しごと創生総合戦略HP)

事業概要【学生お試し移住・定住促進プロジェクト】

推進当初

申請者	北海道江別市ほか7自治体※	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	28,441千円(5,873千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的(効果)	・連携自治体の特色や優良企業等の紹介により、地域の魅力を学生に理解してもらう ・地域で暮らしながらのインターンシップ活動により、実際の地域生活を体験してもらう ・これらの取組をととして、卒業後の進路選択に地域企業を加えてもらうことにより、連携自治体への移住・就業を後押ししていく		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ 連携自治体は地域活動プログラムを構築し、協議会を通じて活動登録学生へ提供 ・協議会の運営に係る経費 4,823千円 ○ 地域で生活をしながら企業で就業体験する「移住体験型インターンシップ」を実施 ・移住体験型インターンシップ実施に係る経費 550千円 ○ 地域企業訪問説明会支援プログラムを実施 ・地域企業訪問説明会実施に係る経費 500千円		 南幌町農業祭への参加の様子
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① プログラムに参加した学生で連携自治体に就職や定住した人数(+49人) ② 地域企業訪問説明会プログラム受け入れ企業数(+40社) ③ 移住体験型インターンシップ等への参加人数(+110人) ④ プログラムに参加した学生で起業した件数(+4人)		関連URL https://gakusei-chiiki.net/

※ 北海道江別市、芦別市、赤平市、三笠市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町の広域連携事業

事業概要【若者「えべつ愛」育成プロジェクト～「関係人口」の創出・拡大を目指して～】

推進当初

申請者	北海道江別市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	40,342千円（5,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・学生に市内大学在学中から「江別の認知度」と「江別への愛着」を高め、えべつファン登録を増加させる。 ・大学卒業後、えべつファン登録者には、江別からの情報を発信し、関心を寄せてもらうほか、地域活動への参加などにより関係人口として関係性を維持する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○大学生や大学との連絡調整等の事務局運営経費 ・事務局の運営に係る経費 4,560千円 ○学生の「江別の認知度」を向上させるための取組 ・市内4大学内江別PRブース設置及び地域交流会に係る経費 500千円 ○大学卒業後も江別との関係を維持する取組 ・首都圏在住の市内大学出身者へのPRに係る経費 400千円 ・えべつファンスマホサイト運営経費 40千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 市内大学卒業生（えべつファン登録者）のうち江別市で地域活動や副業兼業を行った人数（+250人） ② 在学中の市内大学生のえべつファン登録者数（+1,500人） ③ 地域交流会、江別認知度向上バスツアー、東京江別会（市内大学卒業生）参加者数（+350人） ④ 大学内江別PRブースでの情報発信点数（+700点）		関連URL https://ebetsuto.com/

事業概要【江別市就労支援プログラム事業】

推進当初

申請者	北海道江別市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	182,229千円 (37,787千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・シニア世代や子育て世代の新規就労を支援し、市内企業の人材確保を図る。 ・高校生向けの就職支援事業等により、若年層の市内就職促進を図る。 ・介護人材の不足が深刻化しているため、介護に関する入門的研修等を実施することにより、人材不足の解消を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【江別まちなか仕事プラザ事業：22,937千円】 ■委託事業者に支払う経費 19,516千円 ①運営管理費 13,900千円 (相談やセミナー等を調整・実施する拠点人員、 企業開拓員及びセミナー講師等の人件費) ②施設運営費 4,106千円 (机・PC等リース費、通信・光熱水費、 ホームページ・SNSアカウント管理費、託児費用ほか) ③周知・啓発、消耗品費 1,510千円 (地域情報誌への掲載、チラシの作成等) ■拠点賃借料 3,208千円 ※端数調整 ①イオンタウン江別テナント賃料 268千円×12か月 ■高校生企業交流会等開催経費 65千円 ※会場費のみを計上 ①市民会館ホール使用料 65千円 ■拠点における市内企業PR強化費用 148千円 ①企業PRチラシ等の作成 148千円 【介護人材養成支援事業：14,850千円】 ■委託人材派遣会社に支払う経費 14,828千円 ①入門的研修に要する経費 1,911千円 (講師謝礼、テキスト代等) (定員：15人) ②雇用型就労支援に係る経費 12,917千円 (定員：13人) ・雇用・研修に関する経費 8,769千円 (人材派遣会社での短期雇用に係る経費 (雇用経費、 初任者研修受講費等)) ・その他管理費 4,148千円 (説明会経費、通信費等) ■「介護人材ネットワーク」運営費 22千円 (郵送料、消耗品)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	① 就業できた人数の増加 (+94人) ② 参加企業数の増加 (+65社)	関連URL	https://ebetsumachinaka.jp/



事業概要【えべつ食のブランド海外展開事業】

推進当初

申請者	北海道江別市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	14,270千円（2,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・海外輸出の実績がない企業の海外販路拡大の意識の醸成を図る。 ・企業の海外輸出に関する知識、ノウハウの向上を図る。 ・海外向け情報発信により、外国人における「江別の食の魅力」の認知を図る。 ・地域における「海外から稼ぐ力」の創出を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○海外への販路開拓を目指す企業の取り組みを支援するための補助 ・補助金 500千円 ○江別の食産品の海外プロモーションの実施（海外江別フェアの実施、フェア会場でのPR動画放映、現地へ企業の情報発信・意見交換等） ・海外江別フェア等開催経費（委託費） 1,000千円 ○市内事業者を対象としたデザインに関すること（デザインイメージなど）などをテーマにしたWSの開催、個別指導を踏まえた各企業・商品にマッチした国への輸出トライアル、海外バイヤーとの商談等の実施 ・ワークショップ等開催経費（委託費） 500千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 食品の輸出額（+0.9億円） ② 海外フェア・海外バイヤー招聘事業の参加企業者数等（+10社） ③ ワークショップの参加企業者数等（+13社）	関連URL	調整中

事業概要【三笠版DMO造成による「住んで・訪れて・仕事をして良し」の観光地域づくり事業】

推進当初

申請者	北海道三笠市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	209,531千円 (104,765千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	三笠市は大きな三本柱として進めてきた、「ジオパークの推進」（教育と観光）「高校生レストラン」（教育と観光と食）「農業振興施策（観光農園）」（観光と食）が点での活動となっていることから、三笠版「DMO」法人が、交流人口から関係人口の増加に向けて地域資源をブラッシュアップすることにより、市内周遊させるための仕組みづくりを目指し、主要プロジェクトの施策や各観光施設等を線で結び面で連携させる取り組みを展開する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ジオパークの魅力アップ増加事業（地域資源調査含む） ・ジオパーク推進事業（負担金等）2,186千円 ○持続可能な観光地域づくりに向けた機運醸成事業持続可能な観光地域づくりに向けた機運醸成事業 ・持続可能な観光地域づくりに向けた機運醸成のため市内商業施設内において官民が連携したイベントを開催（補助金）4,000千円 ○観光商品化及びDMOスタートアップ事業 ・市内来訪者アンケート調査 0千円 ・大型商談会出展（負担金等）727千円 ○観光商品・特産品のブラッシュアップとマーケティング事業 ・市内事業者向け商品化・販路拡大セミナー（委託料）700千円 ・三笠市観光総合サイトのSNS広告配信（委託料）500千円 ・マーケティング・情報収集（委託料）4,000千円 ○三笠高校卒業生に対する支援アプローチ事業 0千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①ツアー商品等参加者数（+1,250人） ②三笠ファンクラブ数（+750人） ③「三笠版DMO」でコーディネート業務等に取り組む専門人材数（+7人） ④三笠高校卒業生が、飲食店等の開業や観光地域づくりに取り組む人数（+6人）	関連URL	調整中



申請者	北海道石狩市	初回採択回	令和2年第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	139,954千円（28,300千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・石狩湾新港地域の強みを活かした新産業や成長産業の誘致等により、就業場所を創出し、若年層を首都圏等から誘導する ・四季を通じて快適に生活する環境の構築に加え、外国人が不自由なく生活し共生できるまちづくりを推進する		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○企業誘致を推進 ・企業展示会出展委託料：7,500千円 ○移住促進施策 ・道外移住相談会出展ブース料：600千円 ・道外移住相談会資料作成委託料：1,700千円 ○居住環境の向上に資する事業 ・地域公共交通活性化調査委託料：4,500千円 ・生活弱者等冬季生活改善調査：13,000千円 ・外国人生活改善事業：1,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①石狩湾新港地域における操業企業数（+25社） ②ワンストップサービス等による移住・定住件数（+100件） ③本市人口社会増減人数（+225人）	関連URL	https://www.city.ishikari.hokkaido.jp/soshiki/kikaku/85927.html

事業概要【よいち地域まるごとマリアージュ推進プロジェクト】

推進当初

申請者	北海道余市町	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	116,684千円 (20,922千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	・新しい観光コンテンツの開発と特産品を町内で楽しむことのできる環境整備を図る。 ・一次産業の魅力向上と生産基盤の拡大をし持続可能な一次産業の基盤整備を図る。 ・関係人口創出による新たな一次産業の担い手確保を図る。 ・ワインを核とした6次産業化の推進を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○6次化の推進等による一次産業の魅力向上、生産基盤の拡大 6次化体制整備 (補助金) 5,000千円 地域資源の掘り起こし、磨き上げ (委託料) 1,000千円 生産基盤強化 (補助金) 8,500千円 ○一次産業の担い手確保 関係人口創出 (委託料) 1,000千円 ○新しい観光コンテンツ及び特産品を町内で楽しむことのできる環境整備 民泊推進 (委託料) 1,000千円 他自治体との連携 (委託料) 1,670千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①新たに6次産業化に取り組む生産者数の増 (+12件) ②一次産業に従事する、町外からの移住就業軒数の増 (+23件) ③ワイン用ぶどう以外の取扱数量の増 (+1,270 t) ④民泊の宿泊客数の増 (+125人)	関連URL	https://www.town.yoichi.hokkaido.jp/chousei/jouhou/machihitoshigoto/2023-0915-1658-11.html

事業概要【文化を起点とした価値連鎖のまちづくり事業】

推進当初

申請者	北海道東川町	初回採択回	令和2年度第2回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	669,130千円 (119,790千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	大雪山文化や地下水生活文化、農民彫刻文化、家具クラフト文化といった、東川町固有の特色ある文化資本を確保・蓄積し、経済的価値を持つコンテンツに転換し、文化経済の循環を実現し、文化観光、文化関係人口・関係資金の拡大、転入人口増の維持といった価値連鎖を生み出す、人口（ヒト）と経済（モノ・カネ）の好循環を構築する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1. 文化資本確保・蓄積事業 「地下水生活文化」保全調査等委託費 15,620千円 「家具クラフト文化」コンテンツ整理等委託費 9,900千円 「大雪山文化」コンテンツ化調査等委託費 6,930千円 「農民彫刻文化」コンテンツ整理等委託費 4,290千円 2. 文化経済循環促進事業 「文化経済」循環システム構築委託費 2,090千円 「文化経済」構造分析調査等委託費 1,980千円 3. 文化観光推進事業 「文化観光」推進拠点運営委託費 8,030千円 「文化国際観光」推進事業委託費 1,650千円 4. 文化関係人口拡大事業 「文化関係人口」創出・拡大システム構築委託費 18,700千円 「文化関係人口」発信・活用拠点環境改善等委託費 41,580千円 「文化関係人口」情報発信等委託費 3,850千円 「文化価値連鎖」情報発信等委託費 5,170千円		
	文化を起点とした価値連鎖のまちづくり事業 新しい人の流れ 東川町固有の特色ある文化資本 大雪山、地下水、農民彫刻、家具クラフト等の東川町固有の文化資本を経済価値を持つコンテンツへ文化経済循環を実現し、文化観光・文化関係人口・転入人口増の維持といった価値連鎖を生みだす人口（ヒト）と経済（モノ・カネ）の好循環の構築		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①町内増加消費額・経済波及効果額（+782,155千円） ②「旭川空港文化商品販売・発信拠点」利用者数（+75,000人） ③「文化価値創出センター（仮称）」の利活用企業数（+70件） ④転入者数（+70人）	関連URL	https://higashikawa-town.jp/

申請者	北海道上富良野町	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	247,932千円 (50,045千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・十勝岳がもたらす地域資源の掘り起こしと、磨き上げによる本町独自の魅力と価値の創造を図る。 ・十勝岳を核とした地域資源を有意的に結び付け、他地域と差別化を行い、郷土への愛着の向上、観光と移住の促進を図る。 ・山岳に囲まれた盆地が育む良質な農産物を地域資源とした産業振興の促進を図る。 ・未来に向けた持続可能なまちづくりのコンセプトを明確化し、町全体への共有を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	〇十勝岳を核とした新たな地域ブランド確立のため、十勝岳ジオパークとロケツーリズムの推進 ・十勝岳ジオパーク推進 (負担金) 4,835千円 ・ジオサイト等案内・説明看板設置 (備品購入費) 500千円 ・ロケツーリズム推進 (負担金) 2,100千円 〇首都圏へのプロモーション、町内資源を活かし町外からのファンを呼び込むイベント等の開催 ・味覚体感イベント (負担金) 2,000千円 ・季節の移ろい体感イベント (負担金) 8,000千円 ・絶景体感イベント (補助金) 7,960千円 ・移住・定住プロモーション (旅費・借上料) 1,300千円 ・現役世代の移住・定住促進 (補助金) 1,200千円 ・ホスピタリティ向上 (補助金) 100千円 ・関係・交流人口創出プロモーション (旅費・補助金) 3,250千円 〇新規開業、地域資源を活用した新たな商品やサービスなどの開発に対する補助 ・家賃補助 (補助金) 700千円 ・新規開業、新事業展開、特産品開発等 (補助金) 18,100千円 交流人口・関係人口増・移住定住 ↑ イベント、ジオパーク、ロケツーリズム、ふるさと納税、新規開業、特産品開発、新規就農etc ↑ 十勝岳の恵み(景観・農作物・温泉・観光etc)を活かす		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①交流人口 (観光入込客数) (+295,000人) ②ジオパーク事業参加者数 (+3,800人) ③ロケ誘致件数 (+21件) ④ふるさと納税件数 (+9,000件) 関連URL https://www.town.kamifurano.hokkaido.jp/index.php?id=2016		

事業概要【中川町地域商社と東京都世田谷区サテライトスペース連携事業】

推進当初

申請者	北海道中川町	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	224,590千円 (43,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・地域商社の設立による移住の促進および地域資源を材料とした特産品の開発と販路の拡大 ・地域商社の設立とサテライトスペースの連携による効果的なプロモーションの実施 ・サテライトスペースの機能強化による首都圏における関係人口の増加		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域商社運営事業 ・タウンプロモーションの実施（委託費、サイト利用費）2,000千円 ・移住住宅の管理（消耗品費、役務費）1,000千円 ・公共支援課の運営（旅費、委託費等）1,000千円 ・観光商品の企画（旅費、消耗品費、広告料）1,000千円 など ○サテライトスペース運営事業 ・サテライトスペースの維持管理（家賃、電気料、会費ほか）4,000千円 ・店舗運営支援事業（委託費）2,000千円 など		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業による移住者の増（+26人） ②本事業による関係人口の増（+19,850人） ③本事業による売上の増（+17,000千円）	関連URL	https://www.nakagawa-no-nakagawa.jp



事業概要【生涯活躍のまち 上士幌創生包括加速プロジェクト事業】

推進当初

申請者	北海道上士幌町	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	301,098千円 (53,331千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	行政、NPO、企業、団体等と官民協働で設立した「まちづくり会社（株式会社生涯活躍のまちかみしほろ）」が事業主体として、健康づくり、実践的な学習機会の提供、即戦力のある人材の育成・確保、仕事と担い手の効果的なマッチング、介護予防や生活支援など共助による支え合いの地域づくり、継続的に地域と多様な関わりを持つ関係人口の創出・拡大など各施策を連携させ、行政、関係機関と連携しながら生涯活躍のまちを実現させる。		
事業概要・ 主な経費	地域コミュニティづくりと生業の掘り起こしとともに、高齢化してきた「人材センター（まちジョブ）」の新たな担い手づくりや町民の困りごとの解消にあたる人材育成を「専門講座」や「起業塾」の実施により行うとともに、4デジタル格差の解消に取り組む。健康づくりに関するプログラムの提供により健康寿命の延伸を図る。仕事・学び・遊びの3要素を組み合わせた体験プログラムを提供し、町民とかわりを持つ機会を創出することで関係人口の創出・拡大につなげる。 〇人材センターの機能強化事業 15,503千円 〇生涯活躍に向けた人材育成事業 17,482千円 〇健康寿命の延伸事業 10,756千円 〇関係人口の創出・拡大事業 9,590千円		
KPI	①人材センター会員数（+314人） ②起業・コミュニティづくりの拠点（hareta）への集客数（のべ人数）（+6600人） ③人材センター取引件数（のべ件数）（+1200件）		
※経費内訳はR6年度事業費			
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL https://www.kamishihoro.jp/page/00000224		

事業概要【新時代に飛躍する新・大雪圏域観光振興プロジェクト～都市と自然，仕事と遊びを繋ぐシームレスな観光地づくりの推進～】

推進当初

申請者	北海道旭川市ほか 8 自治体※	初回採択回	令和 3 年度第 1 回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	464,295千円 (93,465千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	○豊富な自然環境が調和しており，多くの方に訪れてもらうこと，ビジネス活用，住みやすさ，仕事のしやすさなど魅力を体感してもらい，関係人口の拡大や将来的な移住，企業誘致などにつなげることが可能となる。 ○地域に存在する魅力を広域的な大きな視点と自治体毎の細やかな視点で改めて見直し，磨き上げ，連携を図り，他地域に先駆けて取り組むことで，将来的にも持続的な魅力を有する観光地としてブランド形成に繋がる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○大雪カムイミタラDMOが核となった新しい時代に合わせた「マウンテンシティリゾート」の推進 人件費等 33,294千円 ○各団体と連携した国内需要を中心とした新分野の需要拡大 補助金等 21,982千円 ○各自治体の地域資源を生かしたWithコロナ・Afterコロナのニーズに対応した新たな観光地づくり 補助金等 36,189千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①DMO圏域観光宿泊延数 (+2,081千泊) ②一人当たり旅行消費額 (+123千円/人) ③企業研修，ワーケーション，学術会議，教育旅行等の実施数 (+175件)	関連URL	https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/700/735/76011/index.html (まち・ひと・しごと創生総合戦略HP)

事業概要【新ガーデンデザインプロジェクト推進事業】

推進当初

申請者	北海道恵庭市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	153,727千円 (30,534千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・観光、市民生活、経済、まちづくりに関する分野の施策をつなげ、一体的な施策展開による相乗効果を図る。 ・異なる施策を共通で利用できるアプリ「えにわか」を開発する。 ・市外の人と市民の交流促進、市民には愛着心（ふるさとの誇り）の向上を図る ・観光客だけでなく市民にも市内周遊してもらうことにより経済活動の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①あらゆる世代の市民、市内企業・店舗が利用したくなるアプリを開発する。11,932千円 ②地場産品を活用した商品や観光素材の開発。ホーストレッキングなど新しい観光イベントの実施。恵庭の特徴を活かした「暮らしの提案」や「ブランド化」などシティセールスを実施する。9,640千円 ③歩くことを通した健康づくりや市内循環による地域経済活性化。デジタルを活用した参加者がいつでもだれでも参加しやすいサイクルイベントを開催する。2,850千円 ④移住定住希望者への支援として移住フェアやオーダーメイドツアー等を実施する。6,112千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①アプリへの登録者数 (+3,800人) ②アプリへの参加事業所数 (+110箇所) ③花の拠点「はなふる」利用者数 (+96,794人) ④関係人口の増加 (+82,439人)	  	関連URL https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/soshikikarasagasu/kikakushinkoubu/kikakuka/shinokakushukeikaku/1/senryaku_vision/12585.html

事業概要【旧湯ノ岱小学校を活用した「サテライトオフィスを持ったワイナリー」による産業活性化 及び交流人口等拡大事業】

推進当初

申請者	北海道上ノ国町	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	105,743千円（22,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・特産ワインによる関係人口、交流人口拡大、移住定住促進を図る。 ・醸造用ぶどう栽培やワイン醸造の情報発信による新規就農者及び移住定住促進を図る。 ・六次産業化による特産品開発を進め、所得向上を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○上ノ国町ワインブランド化事業 10,758千円 ・新規就農者、新規醸造家事業説明会、ワインイベントの開催、PRイベントへの参加、商品開発等 ○「サテライトオフィスを持ったワイナリー」情報発信事業 3,960千円 ・ファンコミュニティづくり、WEBサイト、オンラインショップを活用した販売促進等 ○「サテライトオフィスを持ったワイナリー」着地型観光造成事業 7,282千円 ・ワインや地域コンテンツの体験観光の実施等		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①上ノ国町産ワイン販売額（+1億円） ②葡萄農家就業者数（+10人） ③サテライトオフィス利用者数（+4,250人） ④農家・醸造家の移住者数（+5人）	関連URL	https://www.town.kaminokuni.lg.jp

**事業概要【交流×関係×定住による持続可能な地域経済・暮らしの構築
～ニューノーマルを切り拓くローカルイノベーション推進プロジェクト～】**

推進当初

申請者	北海道上川町	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	581,460千円(105,820千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・山積する地域課題の解決に向けたさまざまなプロジェクトを通じて都市部で暮らし働くクリエイティブ人材や大学生、企業人などを「関係人口」として巻き込むための受け皿やシステムを構築することで、地域内外のステークホルダーの手により持続可能な地域経済と暮らしが構築されていく全国でも先駆的な地域となることを目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○外部有識者による継続的な事業支援体制の構築・運用(業務委託費2,200千円) ○プロモーション業務、ITを活用した関係人口創出システムの構築・運用、ワンストップ総合的相談窓口・交流スペースの運営など(業務委託費・広告料・出展料など60,610千円) ○クリエイティブ人材・ビジネス人材育成講座・子供向け学びのプログラムなどの企画運営、ワーケーション等実証企画立案・実証試験など(業務委託費・負担金・消耗品費・手数料など43,010千円)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業を通じたワーケーション、インターンシップなど関係人口の受入人数（+1,000人） ②関係人口創出を業務領域とする新しいビジネスの創業数（+8人） ③当町への年間転入者の数（+40人） ④当町におけるふるさと納税応援寄付額（+45,000千円）	関連URL	調整中

事業概要【「適疎ワーキング」による企業等との関係人口創出・拡大事業】

推進当初

申請者	北海道東川町	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	700,000千円 (140,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・東川町内をまるごと「フリーアドレス施設」とすることで、多くの人の流れを創出し、町内の経済波及効果を促進する ・企業の資金と専門人材を活用した、自治体と企業の連携による町内イノベーション、地域内循環型ビジネスの創出 ・外国人材の活用や企業関心の高いテーマにより関係企業との対流を促進し、関係を深化させ、人材や資金の提供につなげる		
事業概要・ 主な経費	○「適疎ワーキング」システム構築等事業 ・町内フリーアドレス型ワークシステム構築 16,126千円 ・町内フリーアドレス型ワークシステム運営推進 14,355千円 ・ワークスペース等環境改善 15,161千円 ○「適疎ワーキング」発イノベーション創出事業 ・カルティバイト・エコシステム調査研究等 8,778千円 ・企業人材連携プラットフォーム構築等 9,548千円 ・隈研吾建築都市設計事務所等連携 17,358千円 ○民間企業等との対流促進事業 ・外部高度人材等活用 9,394千円 ・企業人材交流・体験促進 9,658千円 ・外国人材交流・体験促進 6,633千円 ○関係人口拡大プロモーション等事業 ・関係人口拡大プロモーション戦略策定等 726千円 ・関係人口拡大プロモーション展開 31,463千円 ※経費内訳はR6年度事業費		
KPI	①本事業の実施により東川町内に与える増加消費額及び経済波及効果額 (+462,083千円) ②「町内フリーアドレス型ワークシステム」利用者数 (+50,400延人) ③年間起業家数 (+50件) ④「オフィシャルパートナー」協定締結企業・「企業版ふるさと納税」寄附企業・「地域おこし企業人」受入れ企業数 (+30延件)		
	適疎ワーキングシステム構築事業イメージ		
	関連URL	https://higashikawa-town.jp/	

申請者	北海道東川町	初回採択回	令和3年度第2回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	569,822千円（99,110千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	学生を「未来の地方創生人材」と捉え、継続的な関係構築や、人材育成、活躍の場創出により、関係人口増やUIターンを促し、人口増の維持、地域内経済循環、担い手確保、コミュニティ形成や若者の地域参画など、学生を軸とした本町の好循環を実現する。 ・本町の魅力発信、現地受入のための相談や受付などを行う学生受入体制構築 ・人数分散型やオンライン等によるポストコロナを見据えた人材育成プログラムの開発や学生に対する提供 ・地元インターンの受入や、本町と共に地域課題解決等の事業を学生と連携して実施		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①東川町とつながる 学生人材育成体制構築事業 学生人材受入体制構築・運営環境整備費 3,960千円 学生人材育成組織運営企画等委託費 9,680千円 学生人材関係構築システム等研究・開発費 2,860千円 学生関係人口拡大プロモーション推進費 20,350千円 ②東川町を知り学ぶ 学生人材育成プログラム研究開発・推進事業 学生人材育成プログラム研究・開発委託費 15,510千円 学生人材育成プログラム推進委託費 17,820千円 ③東川町で実践する 地元インターン・課題解決等実践事業 地元インターン促進事業委託費 11,550千円 実践型東川学生プロジェクト推進事業委託費 17,380千円	東川版「学生関係人口」構築プロジェクト  国内外の学生人材   北海道 東川町 —写真の町— 写真文化首都 国内外の学生との関係構築や、人材育成、活躍の場創出 【①東川とつながる ②東川を知り学ぶ ③東川で実践する】  学生との関係構築による人口増、経済循環、担い手確保、コミュニティ形成、若者地域参画など 学生を軸とした好循環の実現	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①町内増加消費額・経済波及効果額（+1,158,075千円） ②学生人材育成プログラム参加者数（+34,273回） ③若者転入者数（18歳～29歳）（+239人） ④若者地元雇用・起業者数（+85人）	関連URL	https://higashikawa-town.jp/

申請者	北海道美瑛町	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	140,500千円(25,540千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ
目的（効果）	関係人口の創出・拡大による新たな人の流れをつくるとともに地域産業の活性化による雇用の場の創出を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○関係人口の創出・拡大 ・企業・大学等との協働によるシティプロモーション ○関係人口を地域につなげる取り組み ・カーシェアサービスの実証導入（3年目）（5,200千円） ・関係人口交流イベントの実施・出展（14,403千円） ・移住相談者情報の一元管理（682千円） ○地域産業の活性化に向けた取り組み ・電子地域通貨事業の運用開始（5,255千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①コ・ワーケーションビレッジ構想を通して連携した事業者数（+26件） ②移住相談等を経て移住した世帯数（+90世帯） ③電子地域通貨の年間流通額（+837百万円） ④ふるさと納税寄附額（企業版ふるさと納税を含む）（+252百万円）		関連URL 調整中

事業概要【日常に溶け込む北海道食品展開事業】

推進当初

申請者	北海道	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	262,808千円 (99,329千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	今後拡大が見込める健康市場向けの機能食品を開発・販売する人材やDX時代に対応した食関連産業を牽引する人材の育成を行うとともに、道産食品のECサイトなどの新たな成長市場への販路拡大の支援などを行う。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1. デジタル化への対応 ■デジタルマーケティング対応人材の育成 事務費 4,154千円、委託料 26,358千円 ■ECサイト向け商品開発等 事務費 8,286千円 ■ECサイト向け商品の磨き上げ・ブランド化等 事務費 4,100千円、委託料2,024千円 2. 健康食品への特化 ■健康食品の開発や販路開拓 事務費 468千円、委託料 36,674千円 3. 道外における通年販売 ■販路の多様化に向けた相談会 事務費2,214千円 ■通年販売に向けたテストマーケティングの実施 委託料 15,051千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業が関与した道外での通年販売品目数（+120品目） ②デジタルマーケティング人材育成研修に参加した事業者の開発商品の売上げ（+32,000千円） ③本事業が関与した健康食品の新規開発件数（+77件）		関連URL https://www.pref.hokkaido.lg.jp/s/s/csr/jinkou/kyogikai19.html

事業概要【HOKKAIDOワインの可能性を広げるブランド化推進事業】

推進当初

申請者	北海道	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	245,987千円 (82,453千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	ワイン産地としての北海道を競争力のあるブランドとして確立するため、ワインアカデミーの開催によりワイン製造業を担う高度な人材の育成と道産ワインフェアのプロモーションなどを実施する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	・国際競争力のあるブランド化に向けた取組・・・委託料27,184千円、事務費690千円 ・個々のワイナリーのさらなる向上とワイナリー間の連携促進・・・委託料21,601千円、事務費1,079千円 ・新たな市場に対応するための、変動する外部環境条件にも揺るがないワイン生産技術やオンラインによる魅力発信、ワイナリーに対するEC市場活用に関するアドバイス等、マーケティング戦略構築までの変化に対応する研修会や専門家派遣の実施・・・委託料29,696千円 ・百貨店や高級スーパーに対する、EC市場に精通したバイヤー等への積極的な情報発信などのEC市場を念頭に置いたプロモーションの実施・・・委託料2,203千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	首都圏における取扱店舗の増加数 (+9件) 単位あたり収穫量 (+22kg/10a) 日本ワインコンクール受賞銘柄数 (+60銘柄) ECサイト活用新規事業者数 (+3社)	関連URL	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/s/s/csr/jinkou/kyogikai19.html



← ワイン用ぶどう



↓ ワインアカデミーの様子

事業概要【北海道観光の再構築と地域の魅力を活かし人を呼び込む北海道づくり】

推進当初

申請者	北海道	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	634,615千円 (144,620千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	観光誘客促進を図るためのマーケティングデータの収集・分析や道内観光に求められるニーズの多様化を受けた、誰もが安全・安心に道内旅行を楽しむことができる環境の整備などを行う。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	国内旅行へのシフトにおける課題への対応 1 ワークーション等のデジタルプロモーション 31,109千円 観光コンテンツの磨き上げにおける課題への対応 1 観光コンテンツのデジタルプロモーション 13,000千円 2 バリアフリー観光等の案内窓口の構築、情報発信 19,873千円 3 国内外で競合する他地域の施策分析結果の活用 14,844千円 移住・定住の促進における課題への対応 1 移住に関心を持つ層に対するデジタルプロモーション、相談体制の定着 13,408千円 2 転職なき移住等に向けた相談体制の定着費用 22,386千円 3 リピーター等の旅行時における意識・消費行動等の調査・分析結果の活用 30,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①長期滞在者数（+400,600人） ②北海道の移住・定住情報を発信するサイトのアクセス数（+4,012件） ③国内観光客の総観光消費額（+2,521.9億円）	関連URL	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/s/s/csr/jinkou/kyogikai19.html

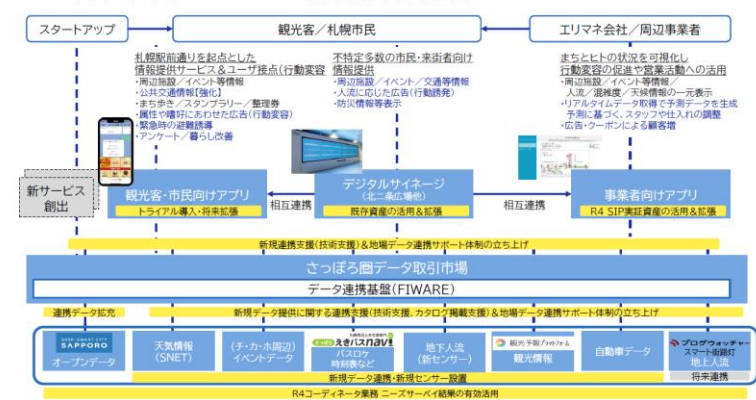


事業概要【地域のデジタル改革によるスマートシティ推進事業】

推進当初

申請者	北海道札幌市	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	153,767千円（78,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・官民サービスの徹底的なデジタル化を実現し、住民の快適な暮らしや個別最適化されたサービスの提供を確保 ・企業等のシステム開発等に係る経費を可能な限り抑えることのできる仕組みづくり ・企業等が住民に新サービス・新事業を提供しやすい環境の整備 ・誰もが先端的サービスの恩恵を享受できるよう、高齢者等へのデジタルデバйд対策		
事業概要・ 主な経費	○官民データ流通促進基盤（都市OS）及びデータ取引所の運用に対する支援 ・運営補助（補助金）：3,600千円 ・運営・推進体制の自走化計画策定補助等（補助金）：5,300千円 ○先端的サービスの実装に向けたスマートシティアプリの活用促進 ・アプリ利用料（委託料）：4,000千円 ・アプリ改修（委託料）：3,100千円 ・スマホ教室の開催（委託料）：4,000千円 ○観光MaaS事業による官民データの利活用の促進 ・官民データ流通促進基盤の機能強化：18,000千円 ・システム利用料：5,000千円 ・システム機能の強化・発展：35,000千円 ※経費内訳はR6年度事業費		
KPI	①データ取引所におけるデータ取引件数（+310件） ②スマートシティアプリのダウンロード数（+67,000件） ③IT・コンテンツを活用して高付加価値をつけようと思っている企業の割合（+1.8%）		
関連URL	・さっぽろ圏データ取引市場 https://ui.apimarket-sapporo.jp/ ・さっぽろ圏スマートアプリのご案内 https://www.city.sapporo.jp/kikaku/ictplan/pointapp/sapporoarea.html		

2024年度 本事業におけるICT構築計画(強化案)



事業概要【釧路市におけるテレワーク事業】

推進当初

申請者	北海道釧路市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	23,305千円 (7,155千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・人口流出を抑制するため、地域の産業基盤を強化し、地域経済を再生させ、安定した雇用の創出を図る ・豊かな自然環境や地域資源を最大限に生かし、首都圏等から人・企業の呼び込みを図る ・当市の中小企業等とのビジネスマッチング、ビジネス展開や企業進出、また社員の長期滞在・移住促進等を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	情報発信事業 ○ホームページ及びWEB等各媒体を使った情報発信 ・ホームページ及びランディングページ等による情報発信（500千円） 人・企業の呼び込み事業 ○企業研修型ワーケーション等誘致誘客事業（4,980千円） ○自治体×企業マッチング・プロモーションイベント参加（550千円） ○地域連携型サテライトオフィスモデル事業（1,125千円） 受入体制強化事業 ○地元経済界（釧路商工会議所、一般社団法人北海道中小企業家同友会等）を通じた地元個別企業等とのマッチング事業		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①MOOワークスペース等施設を継続的に利用する企業数（+10社・団体） ②移住者数（+48人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.kushiro.lg.jp/sangyou/sanshien/1013448/1013449.html （効果検証） https://www.city.kushiro.lg.jp/shisei/shisaku/1006996/1007010.html#group1



事業概要【地力とスマート農業の融合による農業DX推進事業】

推進当初

申請者	北海道岩見沢市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	50,965千円（13,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	①マーケティング分析による作物選定 ②新規作物導入に向けた農業基盤の改善 ③圃場内生育の均一化及び資材削減、施設園芸の省力化		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○プロジェクト推進体制構築費 ・会場代及び構成員旅費 1,000千円 ・「生産の高度化教育モデル」作成 1,000千円 ・全体管理運営及び報告書の作成 1,000千円 ○プロジェクト推進費 ・マーケティング分析による作物選定 1,500千円 ・新規作物導入に向けた農業基盤の改善 4,500千円 ・圃場内生育の均一化及び資材削減 4,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①新規作物及び新規販路開拓による既存作物の販売額 （+29,000千円） ②新たな作物導入及び新規販路開拓の対象品目（+2品目） ③新たなビジネスモデルの創出（+3件）	関連URL	調整中

事業概要【学生・若者のまちづくり参画による地域活性化・関係人口拡大パッケージ～若者が希望を持てるまち岩見沢～】

推進当初

申請者	北海道岩見沢市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	54,541千円 (18,970千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・若者の地域への参画と交流促進を図る ・情報発信の強化による、さらなる関心の喚起を図る ・若者定着のための生活基盤、活動拠点の確保を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	〇地域と大学・学生の交流深化 ・芸術文化・スポーツの地域展開委託料 200千円 ・地域の活性化に資する学生生活活動への支援報償費 150千円 〇まちの魅力・情報発信と、市外在住者も含めた継続的な関わりの構築 ・市外在住者を意識した「まちの魅力」発信サイトの運営 3,651千円 ・当市の魅力・特産物紹介 520千円 ・当市への移住検討者への情報提供と、滞在中の実体験レポートの発信 500千円 〇若者の生活基盤と居場所の確保 ・市内での創業機運の醸成と、創業に向けた支援 2,500千円 ・北海道教育大学岩見沢校による企業等を対象とした芸術文化・スポーツ・健康啓発指導事業の支援 3,450千円 ・廃校舎を利用した地域交流拠点の運営 3,291千円 ・若者の活動拠点の拡大に係る委託料 4,400千円 ・市内流動・滞留人口等の把握調査 308千円    		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①22～24歳人口に占める転出者の割合（▲2.30%） ②21歳⇒22歳、22歳⇒23歳の人口コーホート減少率（▲2.00%） ③各事業への参画企業・団体等数（+12件） ④北海道教育大学卒業者の市内就職数（+10人）	関連URL	調整中

事業概要【美唄シティプロモーション推進事業】

推進当初

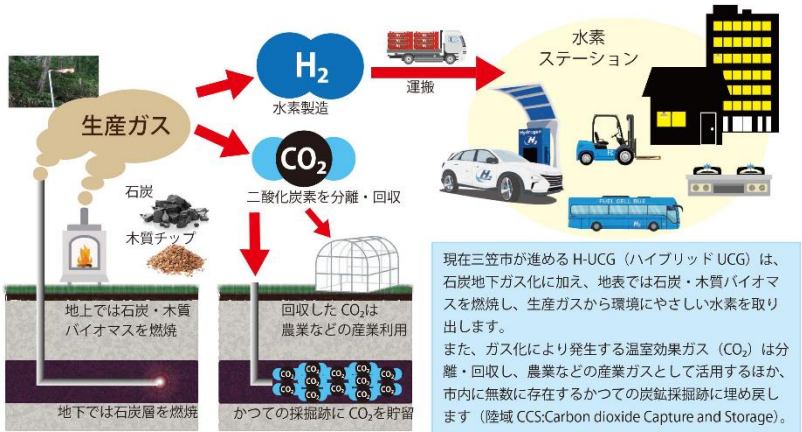
申請者	北海道美唄市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	68,845千円(16,598千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・今後の美唄市の言語となる美唄ブランドを市民と共同で構築し、シビックプライド醸成を図る ・美唄ブランドを市民に広く周知し、美唄市の魅力の再発見を促し、市民の美唄市に対する愛着を高める ・市民参加型のワークショップ等の事業を通して、市民協同のまちづくりの気運醸成を図る ・美唄ブランドを市外に発信し、関係人口の拡大を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○美唄ブランドを構築する事業を行い、市民の美唄市に対する愛着を高める。 ・美唄ブランド推進・PR・管理委託費 11,306千円 ・広報運用管理費委託費 660千円 ○美唄ブランドを市外へ発信し、関係人口の拡大を図る。 ・美唄ブランドの核となるWEBメディアの管理・運用委託費 2,244千円 ・関係人口創出プロモーション経費 2.388千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①美唄ブランド展開による美唄市の認知度向上（ふるさと美唄応援団登録者数）（+1,450人） ②美唄ブランドのメディア掲載件数（+115件） ③美唄ブランドロゴを活用した商品数（+37商品） ④市民アンケートで「美唄に愛情を感じている」と答える市民の割合（+41%）	関連URL	https://www.city.bibai.hokkaido.jp/soshiki/3/19851.html

事業概要【人の流れを生み出し、住みたい働きたいを実現するプロジェクト】

推進当初

申請者	北海道紋別市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	113,139千円 (29,713千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	人口減少下においても地域経済を維持し将来にわたり持続可能なまちづくりを進めるため、都市部から地方への新たな人の流れを生み出し、安定した雇用の場とそこで働く担い手を確保することを目的とする。特に、若者世代の流出が著しいことから、高校卒業後の地元定着やU・Iターン促進のほか、外国人共生社会への取組みのノウハウを活かし、日本人・外国人の両輪から「紋別に住みたい、紋別で働きたい」という希望を実現する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○雇用開発及びUターン促進事業 地元高校卒業生やU・Iターン希望者と地元企業とのマッチングや、PR動画を活用した情報発信を行う 事業費：7,769千円 ○外国人就労推進事業 海外人材雇用推進員等による外国人と地元企業とのマッチング、PR活動、定着後のアフターフォローを行う 事業費：17,160千円 ○おためし暮らし体験事業 生活体験を希望する方へ空き家や空きアパートを活用したおためし暮らし住宅を提供 事業費：4,784千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①事業を通じた就職者数（+44人） ②市への移住者数（+68人） ③インターンシップ参加者数（+41人） ④紋別高校卒業生地元就職率（+8.9%）	【移住PR動画】  【外国人就労支援業務の様子】 	【YouTube広告】  【おためし暮らし体験住宅】 
関連URL	https://mombetsu.jp/administration/?category=119		

申請者	北海道三笠市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	434,000千円 (62,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・地域資源である石炭および木質バイオマスを活用したクリーン水素製造に係る産業創出を図る ・水素製造の過程で発生するCO2の有効利用とこれに係る産業創出を図る ・脱炭素まちづくりに向けて、資源やエネルギーの循環による三笠モデルの構築を図る		
事業概要・ 主な経費	○雇用創出 ・クリーン水素製造の実現に向けた調査・技術開発事業 (委託料) 57,000千円 ○普及啓発 ・事業成果のPR (委託料) 5,000千円 ※経費内訳はR6年度事業費		
KPI	①事業参画する企業の数 (+57件) ②脱炭素に向けた普及啓発事例の数 (+15件) ③普及啓発事業の参加者数 (+1,250人) ④事業推進に伴う定住人口の数 (+40人) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL	調整中



申請者	北海道石狩市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	151,172千円（34,440千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・住民が地域の活動を容易に知ることができる環境をつくり、地域コミュニティへの関わりを通じて生まれた、人のつながりによる街への愛着を醸成する ・地域資源を活かした街の自慢となる特色を作り、住民の街への誇りや愛着を醸成するとともに、街に賑わいをつくり、住民の定着や新たな居住者の誘導を目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○人のつながりが街の愛着につながるまちづくり ・講座開催経費（講師謝金、会場費等）3,100千円 ・プラットフォーム構築事業（委託料）1,000千円 ・発表の場確保事業（補助金、会場費等）3,400千円 ・スポーツ交流イベント開催（講師謝金等）1,600千円 ○街の魅力が街の誇りとなるまちづくり ・デジタルコンテンツ作成（委託料）7,800千円 ・イベント開催経費（委託料、広告料等）10,000千円 ・特色づくり事業（負担金、補助金等）5,040千円 ・パンフレット作成（委託料）2,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①転出者数の抑制（+125人） ②文化・スポーツ事業の参加者数（+1,250人） ③石狩市に住み続けたいと感じる市民の割合（+25%） ④デジタルコンテンツアクセス数（+400,000件）	関連URL	https://www.city.ishikari.hokkaido.jp/soshiki/kikaku/85927.html

申請者	北海道厚沢部町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	193,893千円 (36,923千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ
目的 (効果)	・「認定こども園」「移住体験住宅」「ワーケーション」「ふるさと体験」をパッケージ化した親子ワーケーションプログラムである「保育園留学」をワンストップで提供する。 ・超長期的な関係人口創出のため、ワーケーション受入対象世帯の拡大や企業での利用促進（福利厚生等の利用）を前提としたアプローチを通じて事業の拡大を図る。 ・持続した関係人口の構築と新規利用者獲得のため、オンライン・オフラインでのふるさと体験により持続した関係人口の構築とPRを実施する。		
事業概要・ 主な経費	事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費 ○保育園留学のワンストップ窓口として、ポータルサイトへの情報掲載・事前相談・問合せ対応申込取扱を実施 ・募集ポータルサイト管理運用（委託料）11,660千円 ○zoomを利用したオンラインでの食と観光等の体験を通じ、全国的に保育園留学等をPRし関係人口を創出し、ワーケーション希望者を募る。 ・ふるさと食体験実施費用（委託料）880千円 ○中期的モデル事業利用の場合の生活支援策検討事業実施、将来的な町内子育て世代の支援策検討を併せて実施 ・企業連携サポート事業（委託料）4,108千円 ○保育園留学の体験や現地での様子を動画にすることで、保育園留学の更なるPRを図る。 ・保育園留学動画制作及びSNS管理運用業務（委託料）3,872千円 ○本事業の推進主体である協議会運営経費 ・会議開催費に係る費用（需用費）100千円（旅費）200千円（報償費）300千円 ・管理分析業務（委託料）1,320千円 ・事務費、運営費（旅費）100千円（需用費）100千円（役務費）50千円 ・人材育成事業費（旅費）500千円 ○公営塾と連携し、中学生を対象とした地域魅力化事業を展開し中学生を持つ親のワーケーションを促進 ・地域魅力化事業（委託料）1,188千円		
KPI	KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 ①ワーケーション利用延日数（年間）（+900日） ②保育園留学実施による経済流入額（年額）（+25,000千円） ③事業実施による関係人口の累計数（年度末実人数）（+800人） ④福利厚生等でのワーケーション利用企業数（年間）（+5社）	関連URL	調整中



申請者	北海道ニセコ町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	136,290千円 (29,700千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・まちづくり会社を中心とした多様な連携の推進体制の構築 ・環境を基軸とした多様な連携モデル事業の展開 ・連携創発をうむ『共感』形成に向けた「住民参加」と「情報共有」の実践		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○多様な連携の推進体制の運用、効果検証 (委託料) 5,800千円 ・推進体制の運用、効果検証 ・共感形成に向けた持続可能なまちづくりの取組・成果広報 ・企業版ふるさと納税の活用促進、パートナーシップ登録の運用・マッチングなど ○環境を基軸とした多様な連携のモデルとなる取組の展開・ 効果検証、連携事業に向けた普及促進等 (委託料) 23,900千円 ・官民連携による環境対策・移住促進対策の強化・拡充、 成果広報 ・多様な連携に向けた普及促進活動、人材育成 ・EVを活用したシェアリングサービスの構築・導入など ニセコハートラボは、 まちづくりに関するパートナーを募集します。 3つの関わり方 オフィシャル パートナー 寄付 人材派遣 その他に、ニセコ町とだけの連携にとどまらず、町内企業とはもちろん、ニセコ町とつながりの深い企業や団体同士での交流や連携の機会も多く増えていくことも見据えています。ニセコ町がきっかけで、さらなる企業や団体間での交流が深まっていくことは、私たちが目指す一つの姿でもあります。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①パートナーシップ登録件数 (+16件) ②企業版ふるさと納税の件数 (+22件) ③ふるさと住民制度の登録人数 (+80人) ④ニセコ町の総人口 (+300人)	関連URL	http://www.town.niseko.lg.jp/chosei/jichi_saisei/

申請者	北海道ニセコ町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	104,250千円 (20,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	・官民連携による林務体制の再構築 ・ニセコモデルの森林整備機能・交流型木材加工施設（遊休施設利活用）の試験運用 ・町産材製品のマーケティング、循環の始動、関係人口創出を見据えた体験プログラムの開発 ・林業・木材加工従事者の人材確保・育成など		
事業概要・ 主な経費	○持続可能な森林経営、町産材の循環利用事業の運営（委託料）20,000千円 ・森林整備、計画、管理事業の林務一部移管業務の運営 ・地域循環機能システムの試験導入、交流型木材加工施設（遊休施設利活用）の試験運用 ・町産材製品のマーケティング、販売促進 ・町産材の循環利用拡大に向けた次期交流型木材循環施設の計画づくり ・関係人口創出を見据えた、森と共に暮らす体験プログラムの提供拡販 ・持続可能な林業・木材加工業に関わる多様な人材育成 ・民有林への持続可能な森林経営支援		
※経費内訳はR6年度事業費	「ニセコ共生循環の森林づくり」を目指した、変化の時代に、多様性をもって、共生し続ける道を追求する森林づくりへの第一歩 事業1 森林関連業務の需給整備事業 事業2 森林関係事業者サポート事業 事業3 木材活用事業 事業4 森林空間利活用事業 事業5 ニセコ森林高付加価値化事業 事業6 林務代行事業		
KPI	①林業関係の新規就業者数 (+7人) ②町産材原木使用量 (+450m³) ③新規商品開発数 (+7件) ④体験・交流プログラム参加人数 (+160人)		
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL http://www.town.niseko.lg.jp/chosei/jichi_saisei/		

申請者	北海道倶知安町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	80,336千円 (22,380千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・閑散期の底上げによる観光の平準化 ・受入環境良化のための交流・広場空間機能整備 ・コミュニティ機能強化のためのエリアマネジメント ・観光DXに対応したリゾート形成 (スマートリゾート化)		
事業概要・ 主な経費	①シンボル空間形成に係る事業 (委託料) 19,580千円 (ア)官民連携による魅力的な空間整備の推進 (a)民間事業者との対話による事業条件の検討 (b)事業パートナー公募準備 (c)シンボル空間規制に係る関係団体との調整 (イ)民間事業者と地域の連携によるエリアマネジメントの強化・推進 (a)シンボル空間形成に係る地域ミーティングの開催 ②ICT/IoTを活用したエリアマネジメントに係る環境整備 (補助金) 2,800千円 データ収集プラットフォームや先予約システムなどの観光DXに対応したシステムを活用した事業のPRと戦略化		
※経費内訳はR6年度事業費	 住民ミーティング開催状況 		
KPI	①旅先納税額およびふるさと納税を活用したクラウドファンディング額 (+17,000千円) ②エリアマネジメント活動参加者数 (+94人) ③エリア整備・マネジメントに係る住民ミーティング参加者数 (+51人) ④観光客繁閑差率 (+0.15)	関連URL	https://www.town.kutchan.hokkaido.jp/town_administration/matidukuri/2494/ https://www.town.kutchan.hokkaido.jp/town_administration/chiho-usousei/

事業概要【誰もが躍動し 寄り添い集う 全世代共奏プロジェクト】

推進当初

申請者	北海道奈井江町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	580,028千円（139,226千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・誰もが活躍できる就労の創出と定住促進 ・誰もが健康で、安心して暮らせるまちづくりの確立 ・地域資源を活かしたまちづくり		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【活躍・しごと】新しい働き方やしごとの創出と、活躍の場の提供 短時間ワークシェアリング事業 しごとコンビニの運営 43,677千円 【住まい】ニーズに合わせた住まいと移動手段の確保 空き家活用情報提供、相談や空き家運用モデルなど 39,404千円 【健康】多世代のニーズに合わせた健康づくり事業の充実 健康づくり企画、運営、人材育成 15,951千円 【交流・居場所】新たなコミュニティのあり方検討と創出 音楽を中心とした地域課題解決やまちづくりなど 18,182千円 【都市部等との連携】都市部等との連携と取組の情報発信 都市部民間企業との地域課題解決プロジェクトなど 22,012千円	 しごとコンビニの作業風景（サツマイモ選別作業）	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①活躍人口数（+3,701人） ②関係人口及び移住・定住者数（+1,213人） ③起業件数（+15事業所又は人） ④ふるさと納税寄付額（+4,250万円）	関連URL	地域再生推進法人 一般社団法人ないえ共奏ネットワーク www.naie-kyousou.net 交付金の具体的使途・実施体制・効果検証調整中

事業概要【未来に咲きほこる「北竜ひまわり商社」（仮称）構築プロジェクト】

推進当初

申請者	北海道北竜町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	379,734千円 (85,570千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・ひまわり観光拠点や産直施設の収益性向上を図る ・ひまわり開花時期以外の来訪者や増加させ、町内消費を拡大させる。 ・新たな仕事の切り出し等を行い、雇用機会の拡大を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	みんなで創り・育てる「地域商社」事業 ・セミナー開催費（委託料）：500千円 ・「ひまわり時間」（仮称）設立準備・支援費（委託料）：4,500千円 ・プロモーション展開費（委託料）：5,499千円 ・イベント開催経費（補助金）：4,700千円 ・ひまわりの里誘客受入管理運営経費（委託料・需用費等）：36,758千円 ・アクティビティ開発関連業務委託費（委託料）：2,000千円 ・サンフラワーパーク北竜温泉魅力充実費（委託料）：2,000千円 ・移動販売システム構築検討費（委託料）：4,000千円 「外貨獲得×しごとづくり」のためのフィールド整備事業 ・「ひまわりライス」の販売拡大費（委託料）：8,700千円 ・農産物を活用した特産品製造等経費（委託料）：7,913千円 ・「ひまわり時間」（仮称）機能の企画・検討費（委託料）：9,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①サンフラワーパーク北竜温泉売上高・・・（+325,000千円） ②新規就労者数・・・（+200人） ③観光入込客数・・・（+361.5千人） ④新規商品・サービス開発数・・・（+27件）	関連URL	http://www.town.hokuryu.hokkaido.jp/

申請者	北海道鷹栖町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	74,451千円 (22,970千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	住民の参画力を最大限に発揮するとともに、都市部からの人の流れや域外参画との化学反応により多様で新たな活力を創造していくことで、持続性と発展性のある生涯活躍のまちを構築する。 ■ 地域に自らしごとを生み出す移住者人材の確保を図る ■ 担い手人材及び官民連携によるまちづくりを持続的に、かつ成果を最大化するための仕組みづくりを図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	■ 1. 地域に新たなしごとをつくる人材を創出するための移住プロモーションサイクルの構築 (10,770千円) ■ 2. 子ども期から切れ目なく構築する若者人材育成モデルと関係人口をネットワーク化し、地域に新たな価値を共創するサイクルの推進 (4,800千円) ■ 3. 首都圏大学と地域との連携による課題解決プロジェクトの実施 (2,400千円) ■ 4. ICT×リアルハイブリッドで、全世代交流と全世代の健康を実現するプログラムの推進 (4,900千円) ○鷹栖町版生涯活躍のまちの推進 誰もが活躍できる地域社会の実現 ▶子育て世代の希望を実現する、保育環境の整備やサポート体制充実 ▶「ごちゃまぜ」の多世代交流、居場所づくり ▶あらゆる世代の健康を実現するまち、世代に応じたプログラムの推進 ▶個性を生かして輝けるしごとづくり、新しい就労支援モデルの確立 ▶市街地と農村部、それぞれの資源を生かして魅力を高めるまちの形成 ○地域の創生を担う人材の育成 ▶地域づくりの担い手となる人材の育成 ▶持続可能な地域運営の仕組みづくり ▶本物に触れ、ふるさとに誇りを持つ「ふるさと共育」の推進 ▶高校生など若者が地域で輝く環境づくり 希望が叶う住み続けたいまち 人材循環 都市部からの人の流れ ▶まちに住む人の姿、まちのビジョンに「共感」と「参画」を伴う移住 ▶豊かな感性や創造性でまちに新たな刺激や活動を生み出す移住 ▶都市部の若者や企業、まちにゆかりのある方など「関係人口」の関わり		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① ICT技術を活用する新規就農者数 (+4人) ② 移住者や関係人口と町民との共創により新たに生まれた課題解決事業 (+9事業) ③ 移住者が関わる起業件数 (+3件) ④ 町内におけるきゅうりの年間出荷量 (+25t)	関連URL	https://www.town.takasu.hokkaido.jp/gyosei/administration/detail.html?content=983

事業概要【風土水×地方×都市が育むWell-beingなライフスタイル推進プロジェクト～未来の上川人育成推進事業～】

推進当初

申請者	北海道上川町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	35,900千円(12,910千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	本事業は、事業期間3年間に実施する事業の枠組みは固定しつつ、各年度に実施する事業は、各学び期に合わせた、内容やターゲットを段階的に変化させていくことで自走化へのスムーズな移行を図る。体験型キャリア教育の実施や社会人研修、未来人育成のための各種講座やワークショップの開催については、ICT機器を使用しながら、オンライン上の様々な学習コンテンツや民間の知見も適切に活用することで、子どもたちをはじめとした学習者の学びの可能性を広げていく。また、グローバル化に対応したプロジェクト型学習プログラムの開発、実証や大学の資源（教員、教材）を活用した高度な教育活動との連携についてもICT機器を活用し、上川町の地域性を最大限に活かした学習プログラムの構築及び大学との連携を図るものとする。これらの取組の推進に当たっては、住民が、自ら主体的に目標を設定し、振り返りながら、責任ある行動がとれる力を身に付けることができるよう、学習者主体の学びのカリキュラムやコンテンツなど一線で活躍する人たち（本物と触れ合う）と地域住民との交流を促進することによって、多様な価値観を育み、自ら価値を創造する人材を育むことによって、プログラム参加者が多様性のある地域を支える人材へとなることを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①各種調査分析、計画策定、外部有識者アドバイス体制構築等の取り組み（4,000千円） ②魅力発信事業の実践やIT化の推進、学習プログラムの開発と実践（3,500千円） ③教育人材等の確保育成、大学・企業等との交流（5,410千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①生産年齢人口の転入者数 +15人 ②魅力発信事業発行によるSNSへのリーチ数 +7,500人 ③人材（次世代担い手）育成プログラムの参加者数 +300人 ④上川高校の入学者数の増又は現状維持 +8人		関連URL 調整中

【中富良野町地域商社による持続可能な強い農業を中心とした地域産業創造事業】

推進当初

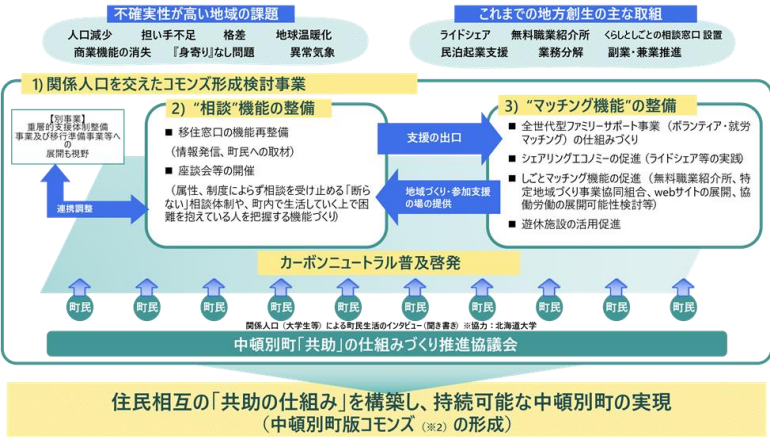
申請者	北海道中富良野町	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	62,722千円 (31,950千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・地域商社を構築し、販路の拡大によって収益性を改善させて担い手を確保し、その担い手による収益性の高い製品の収量増加、加工による新商品開発支援等を行うことで、農業の収益性を向上させる。 ・ICTを活用した新たな販路などで情報収集・検討、効率的な農業の実現も支援しながら、より強い農業を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域商社機能を担う人材雇用と育成 ・コア人材2名の雇用（人件費5,600千円×2名） ・従業員への教育（研修費750千円） ○販路開拓に向けた取組み ・販路開拓のためのテストマーケティング実施（委託料5,000千円） ○販路の拡大 ・商談会等への参加（商談会等への参加費用500千円、生産者・地域商社社員旅費1,000千円） ・信用金庫ネットワーク先等への販売ルート確立（生産者・地域商社社員旅費1,000千円） ・商品PR等宣伝費（広告料2,500千円）、ネット販売チャネル構築費用（委託料2,500千円）、諸経費（事務費500千円） ○農業の収益性向上に繋がる観光施策と連携した事業 ・体験型アグリツーリズム（農業体験・収穫体験・料理体験費（事務費400千円、備品リース費600千円、消耗品費300千円、農産品調達費700千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域商社事業における売上高（+40,000千円） ②園芸作物の作付面積（+18ha） ③中富良野町へのふるさと納税額（+80,000千円） ④ネット販売へのアカウント登録者数（+5,000人）	関連URL	調整中



ラベンダーの植替体験

申請者	北海道下川町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	110,309千円 (28,359千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・住まいからライフプランまでの総合的にサポートを行う移住施策 ・人材の確保及び地域における長期的・戦略的な人材育成		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○移住希望者とのマッチングの強化 ・総合移住プラットフォーム (負担金) 15,010千円 ・空き家調査 (委託料) 4,500千円 ○将来的な移住・定住を見据えた関係人口の創出・拡大 ・地域CO2収支調査 (委託料) 1,000千円 ○地域課題解決の担い手となる人材の育成 ・子どもを対象とした探究学習、キャリア教育の実践 (報償費等) 3,251千円 ・より実践的なICT環境の構築 (報償費等) 910千円 ・林業・林産業の人材確保 (手数料等) 1,088千円 ・林業・林産業における効果的な人材確保に向けた検討 (補助金) 500千円 ・産業分野へのIoT導入 (補助金) 2,100千円 移住体験ツアー しもかわ移住体験 くらしとツアー #道産子馬とのふれあい #焚き火 #川あそび		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①移住相談者の就労数 (+42人) ②移住者数 (子育て世帯) (+8組)	関連URL	https://www.town.shimokawa.hokkaido.jp/gyousei/2023/12/30.html

申請者	北海道中頓別町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	63,673千円 (22,736千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的 (効果)	①関係人口を交えたコモンズ形成を図る ②くらし相談支援となる推進体制を整える ③「共助」のマッチング機能強化を図る		
事業概要・ 主な経費	○関係人口を交えた町民への聞き取り、WS、推進協議会の運営等を通じて、事業全体の推進委託業務 (4,8070千円) ○「なかとんくらし座談会」を開催、住民相互支援型の新たな相談窓口の実践支援委託業務 (5,676千円) ○地域生活サポート事業の実践と改善・工夫支援委託業務 (1,082千円) ○ボランティアドライバーとのマッチング事業 (2,370千円) ○しごとマッチング機能の促進支援委託業務 (4,035千円) ○コモンズ拠点化形成のための専用施設の運営管理 (1,175千円) ※経費内訳はR6年度事業費		
KPI	①就労マッチング件数 (+41件) ②全世代型ファミリーサポートのマッチング件数 (+45件) ③関係人口数 (+35人) ④相談件数・アウトリーチ件数 (+45件)		
関連URL	https://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp/bunya/54262/		



事業概要【「ワタシノ」居場所創造によるまちの活力創造事業】

推進当初

申請者	北海道小清水町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	131,181千円 (17,703千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	新たな防災拠点型複合庁舎建設に際し、単に役場機能のみを整備するのではなく、中心市街地の活性化と地域住民コミュニティ再生の場を醸成するため、人々が集いいたくなるような賑わいを創出する機能（カフェ・ランドリー）を設置するとともに、地域住民の健康増進に向けたスポーツジムを展開する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○事業運営主体の安定的な経営を図るため、2年目で実施した各計画に基づく進捗確認と検証作業およびブラッシュアップ委託費 7,663千円 ○スポーツジムにおけるアウトドアフィットネスのプログラム実施制作費・PR費 3,000千円 ○町内共通地域ポイント等の導入に向けた調査・設計費 5,500千円 ○移住者を含む関係人口拡大に向けた交流事業費 1,540千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①賑わいのある空間利用者数（+750人） ②事業を通じた移住者数（+9人） ③民間企業職員（ワーケーション含む）受入数（+20人） ④まちづくり応援出資者数（+200人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.town.koshimizu.hokkaido.jp/hotnews/detail/00009744.html



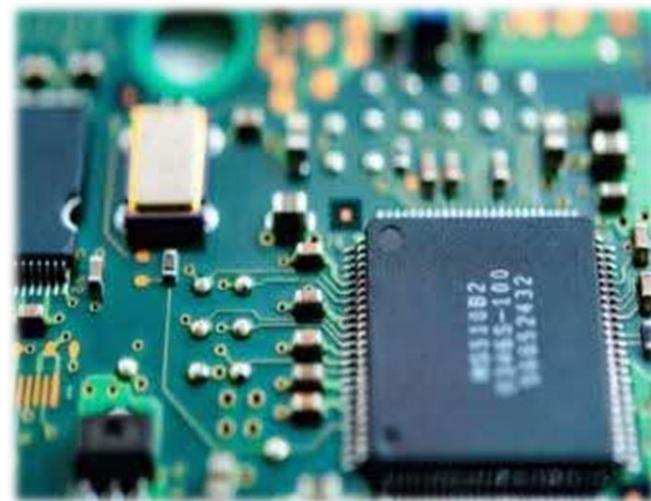
事業概要【子育てを社会全体で支える「子ども応援社会」の実現】

推進当初

申請者	北海道	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	231,858千円 (82,433千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	安心・安定した子育て環境の整備を推進することにより本道への呼び込みと定着の強化を推進するため、若年層や子育て世代等がもつ経済面や子育て環境の不安解消に向けて、地域企業の受け入れ体制整備や地域コミュニティの受け入れ体制形成に向けた支援、地域で身近な相談者の人材育成などを実施。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○結婚や出産の希望をかなえる環境づくりにおける課題への対応 ・心豊かに暮らす人を調査し、優良事例として地域の企業向けセミナーを開催（委託費11,659千円） ・地域企業でのインターンシップ及び住民と交流しながら暮らす就業・暮らし体験（委託費9,645千円、事務費756千円） ○地域全体で子どもを見守り育てる社会づくりにおける課題への対応 ・地域の当事者、団体、行政などが関わり合える場としてフィールドワークや講演、交流会を開催（委託費238千円、事務費3,236千円） ・産官学（地域企業、行政、地域及び外部の学術有識者など）連携による地域資源（自然、文化、遺産など）を活用した次世代へつなぐ人材を育成する研修（負担金25,779千円） ○若年層・子育て世代の呼び込みにおける課題への対応 ・北海道の優位性PR及び移住関心層の属性・ニーズ等を把握・分析（委託費10,887千円） ・先輩移住者による暮らし方、働き方、生活環境等に関するセミナーを開催（委託費19,494千円、事務費739千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①北海道の年少人口（0～14歳）の割合（+0.21%） ②理想の子ども数を持たない理由で「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」（▲6.6%） ③40代以下の移住相談件数（+102件）	関連URL	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/s/s/csr/jinkou/kyogikai19.html



申請者	北海道	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	161,153千円 (58,404千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	次世代半導体製造拠点の立地決定を好機と捉えて、世界中から研究者や技術者が集う拠点形成の実現に向け、海外企業や道内企業とのイノベーションが期待される技術を持つ企業の招へい、将来の人材確保に向けた若年層の意識付けやデジタル人材の育成などを実施。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○国内外企業の誘致活動・トップセールス 33,568千円 (委託料 30,845千円、事務費 2,723千円) ・国内外の大規模な半導体専門展示会への出展 12,022千円 (委託料 11,915千円、事務費107千円) ・海外企業の招へい、視察アテンド 12,415千円 (委託料 12,275千円、事務費 140千円) ・投資誘致セミナー・フォーラム等の開催 9,131千円 (委託料 6,655千円、事務費 2,476千円) ○道内企業等の参入支援 12,082千円 (委託料 12,043千円、事務費 39千円) ○誘致企業定着及びさらなる誘致に向けた機運醸成 12,754千円 ・半導体に関する理解を深めるセミナーの開催 (委託料 12,754千円)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①半導体関連分野の企業誘致件数 (+11件) ②半導体関連分野の海外からの投資件数 (+5件) ③本事業により半導体産業への理解が深まったと回答した人の人数 (+600人)	関連URL	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/s/s/csr/jinkou/kyogikai19.html



事業概要【北海道未来実装「地方×宇宙ビジネス」加速化事業】

推進当初

申請者	北海道	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	185,940千円 (65,380千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	北海道発宇宙事業の宇宙分野に止まらない新たなマーケット創出・ニーズ発掘など事業領域の多角化を図るため、幅広い関連産業の育成やスタートアップ企業の創出支援などを実施。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○他県との連携強化（S-NET推進自治体連携事業） ・新たなビジネス創出に向けた意見交換及び投資家との交流の場の創出（事務費1,164千円） ・海外需要獲得に向けた主要国際会議への出展（事務費5,587千円） ・市町村と連携した宇宙イベントの開催（委託料5,388千円） ○人材確保支援 ・企業説明会（委託料1,739千円） ・就業体験会の実施（委託料2,269千円） ○スタートアップ支援（委託料49,173千円、使用料60千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①資金調達する宇宙関連スタートアップ企業数（+10社） ②道内宇宙関連企業における新規雇用者数（+21人） ③道事業により創出・集積したスタートアップ企業数（+32社）	関連URL	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/s/s/csr/jinkou/kyogikai19.html



事業概要【アウトドアヴィレッジるもい整備による観光拠点形成プロジェクト】

推進当初

申請者	北海道留萌市	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	34,917千円 (8,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	「道の駅るもい」内にアウトドア観光を進める拠点施設を整備し、アウトドア・アクティビティのメニュー開発や情報発信を行うとともに、ＪＲ留萌本線廃線後の隣接した鉄道遺産の活用を行うなど、「道の駅るもい」をアウトドア観光の核として「稼ぐ観光」へシフトし、インバウンド需要の取り込み、関係・交流人口の増加により若者に魅力ある雇用づくりや、アウトドア人材の集積などの新たな観光ビジネスの創出と、市民に幅広く還元できるまちづくりを目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①アウトドアDMO（仮称）の運営事業（委託料）5,000千円 ・アウトドアDMO（仮称）の組織化支援 ・インストラクター（ガイド）の育成及び体制づくり ・子どもや高齢者なども楽しめるアウトドアメニューの提供 ②廃線遺構を活用したモデルツアー、S L 移設にかかる調査設計事業（委託料）3,000千円 ・廃線跡地を活用した歴史、ウォーキングルートの設定と活用 ・市内公園より道の駅エリアに移設するための調査設計		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①道の駅るもい入込数（+24,739人） ②訪日外国人宿泊客延人数（+206人） ③道の駅るもいから発信したアウトドア・アクティビティ体験者数（+200人） ④道の駅るもい内ショップ販売額（+23,508千円）	関連URL	調整中

申請者	北海道富良野市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	153,701千円 (55,420千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	富良野盆地が生み出す良質なパウダースノーを“bonchi powder”としてブランディング、誘客につなげる。くわえて、市民の親雪、利雪の機会を増やし、気候変動に対し、ゼロカーボンシティ運動にまちあげて取り組み、シビックプライドの醸成と、取組へ共感する人との交流／定住の拡大へつなげ、経済の循環と、働き手の確保、雪国の生活文化の継承を図り、持続可能かつ「住んでよし、訪れてよし、働いてよし」のスノーリゾート都市をめざす。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○bonchi powderのブランディングと誘客拡大 ・パウダースノーの強みの定量化へ向けた調査 490千円 ・冬期間の親雪・利雪イベントの実施 5,000千円 ・各種媒体を活用したプロモーション 19,067千円 ○アイデンティティの確立、シビックプライドの醸成 ・パウダースノーの特徴に関するエビデンスの共有 1,573千円 ・こどものスキー教育推進事業 8,146千円 ・地元スキー人口の増加に寄与する取組 7,500千円 ○持続可能な観光地域／ゼロカーボンシティ ・働き手の確保及び移住定住の促進 12,046千円 ・持続可能な観光地づくりの推進 448千円 ・ゼロカーボンシティ実現に向けた取組 1,150千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①スキー場エリア入込客数 (+103,350人) ②移住定住した生産年齢人口 (+54人) ③地球温暖化防止の取組を「重要」と認識する市民の割合 (+8.1%) ④インスタグラムのフォロワー数 (+10,450人)	関連URL	https://www.city.furano.hokkaido.jp/life/machizukuri/shiminsanka/shingikaiichiran/

事業概要【赤井川村の強い産業づくりを担う中核プレーヤー発掘・育成・ステップアップ支援事業】

推進当初

申請者	北海道赤井川村	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	58,640千円（14,949千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・力強い産業と雇用の場をつくる地域プレーヤーを発掘・育成・輩出する ・地域資源を活用したビジネスにチャレンジできるインキュベーション環境を整備する ・継続的に地域プレーヤーを育成・輩出し続けられるエコシステムを構築する		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①官民連携による事業推進体制の運営 官民連携体制の構築・事務局運営 委託業務…5,885千円 ②首都圏人材の発掘・獲得 人材リクルート、人材募集PR 委託業務…4,774千円 ③まちづくりを担うプレーヤー候補の伴走育成支援 個別伴走、育成プログラムの実施 委託業務…2,640千円 ④域内外のプレーヤー同士の交流支援 ビジネス交流、マッチング等のコミュニティ形成 委託業務…1,650千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域プレーヤー輩出件数…（+9名） ②先端技術導入検討件数…（+3件） ③社会増減数 …（+10名） ④プレーヤー候補獲得数 …（+35名）	関連URL	https://www.akaigawa.com/

申請者	北海道新十津川町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	200,345千円(106,082千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的(効果)	新十津川町の基幹産業である農業において、農業用ドローンが農家全体の約4割に普及し町民にとってドローンが身近な存在である。新十津川町の課題として人口減少、担い手不足、買い物弱者・交通弱者対策などがあり、これらの課題を解決するとともに町の新たな魅力としてドローンを核としたまちづくりを進める。新たな雇用の場の創出や関連交流人口の拡大、地域経済の活性化、移住・定住者の増加、生活の利便性向上を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①ドローンスクールを立ち上げ、北海道ならではの冬場での操縦実技や、知識を習得を通して冬期間も対応可能なドローンパイロット等関連人材の育成と人材交流 17,142千円 ②ドローン飛行テストコースを設置し、北海道特有の寒冷地向けドローンの技術実証・開発 25,080千円 ③ドローンを活用した買い物代行サービス事業の実証・実装 30,976千円 ④ドローンを活用した観光コンテンツ開発 3,025千円 ⑤プロジェクト全体管理 11,777千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①ドローン関連人材移住、定住者数(+17人) ②ドローン関連交流人口数(+280人) ③新規雇用創出数(+30人) ④関連ドローンフライト数(+315回)	 新十津川町に開校したドローンスクール	関連URL https://www.town.shintotsukawa.lg.jp/hotnews/category/355.html

事業概要【オール鷹栖による持続可能な地域づくり拠点形成事業】

推進当初

申請者	北海道鷹栖町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	75,288千円 (22,050千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	■ 地域社会で地方創生を担う人材育成と、地域の課題を自ら解決していく仕組みづくりを図る。 ■ 暮らしを支える小さな拠点を形成していく住民の参画力を最大限に発揮する仕組みづくりを図る。 ■ 小さな拠点と多様な主体とが、複層的に連携を図って地方創生を進めていくために、民間活力や広域連携、関係人口との関りを、積極的に推進する地域づくりを実現する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	■ 1. 小さな拠点における地域課題解決の取り組み推進 課題解決の活動実践（補助金） 5,500千円 人材育成研修 1,300千円 ■ 2. デジタル活用や広域連携、多様な主体との協働で実現する小さな拠点の魅力の向上 メディア制作 4,000千円 情報伝達電子化アプリの導入 250千円 拠点施設予約システムの導入 6,000千円 ■ 3. 関係人口が継続的に関わる拠点づくり 課題解決の活動実践（補助金） 1,000千円 ■ 4. 多様な連携と民間力の活用で推進するゼロカーボン拠点の実現 推進イベント実施（委託） 3,000千円 地域資源活用策の調査研究 1,000千円		
KPI	① 人口の社会動態における転出入の差（+55人） ② 小さな拠点を単位として住民主体で新たに事業化された課題解決の取り組み（+20事業） ③ 事業を通して新たに生じたコミュニティビジネス（+7件） ④ 小さな拠点の事業運営に関わった関係人口の延べ人数（+200人） ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL	https://www.town.takasu.hokkaido.jp/gyosei/administration/detail.html?content=983



推進当初

55

推進当初

56

事業概要【eスポーツを通じた活気ある湧別まちづくり事業】

推進当初

申請者	北海道湧別町	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	49,131千円 (6,300千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	様々な年代や思考、地域と人々を結びつけるジェンダーに囚われないツールとしてeスポーツを活用し、その垣根を取り払い、楽しみながら町民みんながつながりやすい環境を創出し、誰もがデジタル化の恩恵を受けられる環境とデジタル技術の活用により都市にはない地方の魅力を発揮していく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○外部からのプログラミング指導により興味関心をもつ小中学生の掘り起こしを行う。 ・デジタル教育ワークショップ開催（委託料）1,150千円 ○町内イベント時に体験ブースを設置し、理解醸成を行う。 ・取組PR、体験会実施（委託料）1,250千円 ○eスポーツ施設において年代、職業の垣根を超えた交流を行い、地域コミュニティの強化を図る。 ・町民ワークショップ開催（委託料）1,650千円 ○eスポーツによる高齢者の心身の健康増進、認知機能の強化や生きがいづくりを行う ・高齢者ゲーミングレクリエーション開催（委託料）2,250千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①デジタル教育ワークショップ参加者数（+90人） ②町内のeスポーツサークル設立（+1団体） ③高齢者ゲーミングレクリエーション参加者数（+200人） ④全国大会イベント開催のオンライン発信による視聴者数（+3,000人）	関連URL	https://www.town.yubetsu.lg.jp/administration/town/detail.html?content=1224



事業概要【関係人口の拡大による地域産業活性化プロジェクト】

推進当初

申請者	北海道安平町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	36,202千円 (11,924千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	観光施策として交流人口や関係人口、リピーター層の増加を果たしながら、その来訪層を町内での起業や事業継承に誘い、商工分野の課題である商店街の活性化を目指していく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	●地域ブランディングとご当地商品の開発支援 ・地域ブランド構築事業（委託料）5,412千円 ・商品開発支援補助金（補助金：補助認定審査会で補助先を決定する、1/2もしくは10/10、地域資源を活かした商品開発への補助）4,520千円 ●新たな創業や事業継承の支援 ・創業塾支援事業（補助金：安平町商工会、定額補助、新規創業者への学習機会開設経費）342千円 ・事業継承バンクの運用、サポート事業（委託料）1,650千円 事業継承のサポート体制 起業者によるイベント事例		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①安平町の観光客数（+9千人） ②新規商品開発件数（+12件） ③新規起業件数（+6件） ④事業継承相談数（+6件） 関連URL https://www.town.abira.lg.jp/gyosei/sogo-keikaku/second-plan/35		

推進当初

59

事業概要【十勝清水町 地域DXベンチャー発掘・育成・創出事業】

推進当初

申請者	北海道清水町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	51,927千円 (16,337千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・街の将来を担う地域ベンチャーを発掘・育成・輩出する ・首都圏・都市部から地域ベンチャー候補となる人材の発掘・獲得する ・清水町でビジネスにチャレンジできるインキュベーションプログラムを実施する ・継続的に地域ベンチャーを育成・輩出し続けられるエコシステムを構築する		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①官民連携による事業推進（委託:2,816千円） 官民連携体制の構築・オフィス運営 ②ベンチャー候補発掘・広域展開（委託:7,361千円） 人材募集、PR ③実践・伴走育成プログラム実施（委託:1,320千円） OFF-JT・OJTプログラム実施 ④育成ベンチャー立ち上げ支援（委託:660千円） ビジネス交流、マッチング等のコミュニティ形成 ⑤事業推進事務局業務（委託:4,180千円） 事業事務局運営全般		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①移住の全体件数（+14件） ②十勝清水ベンチャー創出（+7件） ③育成プログラムの完了（+15件） ④候補人材の獲得件数（+28件）	関連URL	https://start-up-shimizu.com/

事業概要【芽室町元気な商店街づくりプロジェクト】

推進当初

申請者	北海道芽室町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	62,318千円 (21,600千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・地域内経済循環の促進と消費喚起による消費流入により商店街の活性化を図る ・起業支援による新たなお店の増加、既存のお店の稼ぐ力の向上により商店街の強化を図る ・デジタル技術を活用し商店街のD X化を推進する ・商店街を魅力的な場にする事で「ひと」の流れ、新しい「しごと」を生み出し、交流人口や定住人口の増加を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○デジタル技術を活用した消費喚起事業の実施 ・デジタル地域通貨を活用した消費喚起事業（補助）2,000千円 ・行政連携負担金（町実施）1,200千円 ○新たな起業への支援 ・起業セミナー及び起業家交流会開催（町実施）500千円 ・チャレンジショップ運営支援（補助）1,500千円 ・起業家への支援（補助）6,000千円（2,000千円×3件） ○既存事業者の新分野進出・事業規模拡大への支援 ・新分野進出支援（補助）4,000千円（2,000千円×2件） ・事業規模拡大支援（補助）1,000千円（500千円×2件） ○商店街魅力発信事業（消費喚起イベント等） ・商店会が実施するスタンプラリー費用（補助）400千円 ・商店街、食、物産等の町PRプロモーション番組作成 5,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①デジタル地域通貨を活用した消費喚起額（+100,000千円） ②本事業による起業支援数（+14人） ③新分野進出・事業規模拡大に取り組んだ事業者数（+10件） ④商店街魅力発信事業の参加者数（+400人）	関連URL	https://www.memuro.net/administration/soshiki/seisaku/hyouka/gyousei-hyouka/index.html

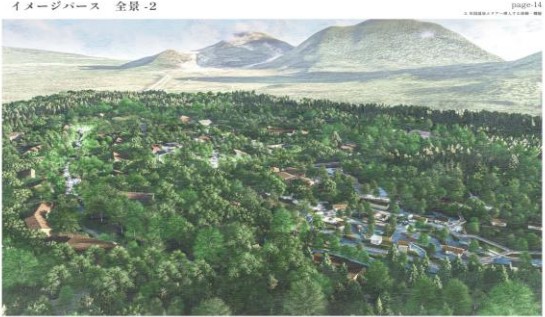
事業概要【持続可能な農村エコシステム構築事業】

推進当初

申請者	北海道更別村	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	536,030千円（154,150千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・農村エリア交通課題の解決 ・畜産業の課題の解決 ・高速安全な通信とデータ保管の完全性の課題の解決		
事業概要・ 主な経費	①共助型地域交通物流システム ・自動運転システム実証経費（レベル3、4、冬季実証含む） 20,000千円 ・すいすい村内移動移送サービス実証費 11,950千円 ・AI配車システムテスト費用 8,000千円 ・ロボット配車実証運行費用 15,000千円 ②国際競争拠点を形成する新たな農村エコシステムの構築 ・ISOBUS開発機器の実証 70,000千円 ③ブロックチェーンを活用した分散ストレージシステム ・分散ストレージ開発実証 25,000千円 ④通信基盤のメッシュ化(衛星スターリンク)及びセキュア通信 ・基準局インフラ開発費用3,000千円・衛星通信使用料1,200千円		
KPI	①共助型地域交通物流システム利用者の実数（+110人） ②自動農機（無人ロボットトラクター・ドローン）の導入数（+30台） ③離農者数の減少（▲3人） ④企業誘致の増加（+3社）		
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL https://www.sarabetsu.jp/gyosei/seisaku/sogo/supercity/		

事業概要【官民連携手法による湯の川がつむぐカルデラの森の温泉街再生事業】

推進当初

申請者	北海道弟子屈町	初回採択回	令和5年度2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	197,500千円 (67,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	団体旅行から個人旅行への旅行形態の変化、消費から体験へと変化した旅行の目的など、時代の変化に順応することができずに廃業や休業に追い込まれたホテル・旅館の残る川湯温泉街の再整備のための調査や計画策定ブランディングによる企業参入、人材確保の体制を構築する。 観光振興による質の高い雇用の実現と移住の促進を図り活力ある温泉街の再生を図る。 地域住民や地元企業等が主体となりまちづくり会社を組成し持続可能な温泉街再生を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ホテル誘致や環境整備に向けたガイドライン策定や、官民連携した「オープンデザイン会議」の運営 18,500千円 ○川湯温泉街の顧客情報の共有と消費動向の把握と戦略推進事業 4,800千円 ○新たな人材確保とまちづくり会社組織体制構築 11,000千円 ○PPP手法による官民連携推進、民間企業誘致 9,200千円 ○川湯温泉に来る目的の造成やブランディング事業 12,000千円 ○川湯テラス基本計画策定業務 12,000千円	川湯温泉街再生イメージ  イメージバース 全景・2	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①川湯地区における観光入込客数のうち宿泊者数の割合（+6.5%） ②川湯地区における外国人宿泊者数（+23,000人） ③川湯地区における延べ宿泊者数（+65,000人） ④観光ポータルサイト閲覧数（+250,000PV）	関連URL	https://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/kurashi/machizukurijoho/kakushukeikaku/sougoukeikaku/dai6zisougoukeikaku/index.html

事業概要【高度外国人材に選ばれるほっかいどうイノベーション創出事業】

推進当初

申請者	北海道	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	170,586千円 (56,862千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	世界でも注目されるアジアのIT開発拠点となる国々の高度外国人材を北海道に結集させることで、彼らの持つ高度な知識・技術を本道に結集、全道域に効果を波及させ、広域分散型の地域課題と未来技術を掛け合わせた先進的な実証事業の実施を通じて、地域の実情にあった実装を推し進め、道内全域さらなる技術・サービスの高度化といったイノベーション創出を行う北海道を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳は R6年度事業費	○道内におけるイノベーション機会創出 ・海外企業とのマッチング会開催等 (負担金5,300千円) ・道内市町村と事業者・関連団体のマッチング会の開催・ネットワーキング会 (委託料 23,540千円) ○海外の大学関係者、高度外国人材を対象に自身のスキルを活かして活躍できるフィールドとして北海道を売り込む。 ・現地大学のセミナーの開催 (委託料9,578千円、事務費180千円) ・多言語による北海道の仕事・生活環境のPR動画を活用したビジネス交流会 (委託料 3,696千円) ○道内企業向け高度外国人材活用に向けた普及啓発 ・道内IT企業に対し、高度外国人材採用・定着に向けた対策や成功事例を学ぶセミナー・交流座談会を開催 (委託料 14,568千円)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①道における新規雇用者数 (+30人) ②本事業により創出されたマッチング数 (+15件) ③本事業により新たに外国人材の確保に向け取組を行う道内企業数 (+60社)		関連URL 調整中

事業概要【新たな戦略作物による北海道農業の持続的成長と販路拡大事業】

推進当初

申請者	北海道	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	87,999千円 (29,333千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・「新たな戦略作物」として生産の拡大が期待されている作物の道内各地への技術の普及を図る。 ・道外での催事や外食事業者向けの産地見学会を開催し、新たな戦略作物の認知度を向上させる。 ・北海道が運営するアンテナショップと全国の手小売店との連携により、道内事業者の道外市場への販路拡大を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	・道内外の飲食店における新戦略作物を使ったメニューフェアの開催（委託料：6,093千円、事務費：86千円） ・外食事業者を参集し、意見交換の開催（事務費：78千円） ・外食事業者向けの産地見学会の開催（事務費：214千円） ・各地域の販路や栽培技術の調査、事例集の作成（事務費：598千円） ・外部有識者による分析・検証（委託料：5,570千円） ・道内の中小・小規模事業者の商品のテスト販売（委託料：16,694千円）  		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①農業産出額（+249億円） ②本事業により取り扱った新たな戦略作物や加工品の品目数（+270品目） ③無加温栽培技術取組農家戸数（+25戸）	関連URL	調整中

事業概要【人が輝きまちが輝く交流都市Hakodate"函光"プロジェクト】

推進当初

申請者	北海道函館市	初回採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	78,988千円 (20,364千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的 (効果)	・これまでアプローチしてこなかった中国人ミドルレンジ富裕層や欧米観光客をターゲットとしたプロモーションを展開し、本市の認知度向上および来函意欲の向上を図り、観光消費額の増加を目指す。 ・観光消費による経済波及効果や地域経済循環により、他産業や市民生活にも経済的な効果が波及するという好循環モデルの形成を図る。			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ 中国人富裕層向け旅行プロモーション事業 2,970千円 【委託料 (中国現地におけるBtoB、BtoCプロモーションの実施)】 ○ アメリカ市場プロモーション事業 (委託事業) 【米国旅行博出店料】 900千円 【観光商談会出席料】 340千円 【営業活動費】 900千円 【情報発信費】 360千円 ○ 函館山夜景魅力度向上事業 5,000千円 【委託料 (函館山山頂混雑緩和に係る実証実験)】 ○ 観光コンテンツ・食・水産物情報発信事業 【観光PR動画制作委託料】 2,455千円 【食ポータルサイト委託料】 3,542千円 【水産物市場動画制作委託料】 3,267千円 情報発信  環境整備 おいしい函館 TASTE HAKODATE FOODS 食ポータルサイト  水産物市場動画  観光PR動画 (多言語対応)  混雑緩和による満足度向上 新たなターゲットとして プロモーション アメリカ人 観光客 中国人 富裕層 観光消費額 向上 <td></td>			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額 (+420億円) ②観光客数 (+750千人) ③観光客の平均宿泊数 (+0.09泊) ④食ポータルサイト「おいしい函館」の月平均閲覧数 (+1,500 P V / 月)			
	関連URL	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2016072600039/		

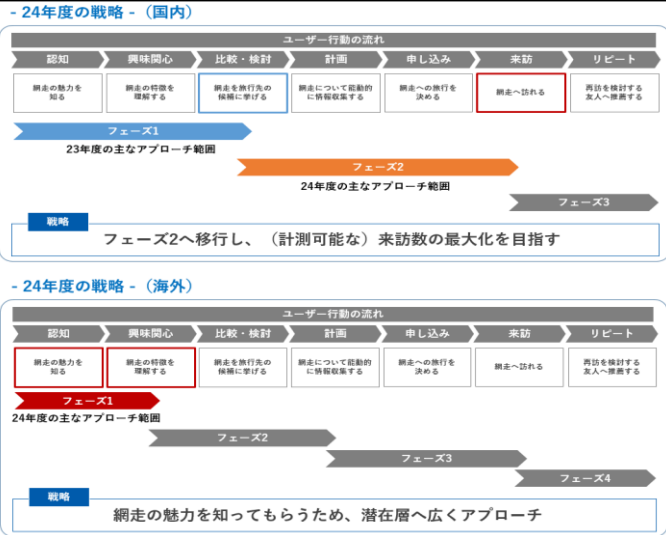
6

事業概要【「食の実験区，旭川」 未来の食文化を創造する街プロジェクト】

推進当初

申請者	北海道旭川市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	123,090千円(24,930千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・フードフォレスト事業の取組により埋もれた素材を活用を図る。 ・食のバリューチェーン全体の稼働力の強化を図る。 ・クリエイターを支援するフードカリスト（触媒）の育成を図る ・クリエイターのクリエイティビティを刺激する体験の創出を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○農家、高校や高等教育機関、料理人などと連携し、朝食メニューやお土産品を開発（補助金）3,600千円 ○フードフォレスト事業の実践の場として、国内外の多様な市場との商談機会を創出（負担金）5,800千円 ○朝ごはんツアーを開催し、食について体験し、学び、議論することで機運の情勢や情報発信（補助金）1,000千円 ○市内で開催される国際的なイベントに合わせて、食に関連するワークショップや試食するイベント等を開催（補助金）自己資金で実施 ○市内中心部に「朝ごはん」のチャレンジ施設を開設（補助金）自己資金で実施  あさのあさひかわ		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における農林水産出荷額（+50百万円） ②開発商品，サービス等の売上（+115,000千円） ③旅行消費額（+21千円／人） ④事業に参画する事業者数（+70社）	関連URL	https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/700/735/76011/index.html （まち・ひと・しごと創生総合戦略HP）

申請者	北海道網走市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	127,059千円 (42,353千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・「網走市デジタルファースト宣言」による「関係人口創出のデジタルファースト」の実現を図る ・インバウンド対策のためのフェーズ1として情報発信によるデータを集積を目指し、EBPM推進を行う ・ユーザーニーズを満たすデジタルコンテンツの新規作成、既存デジタルコンテンツのリライト・改修を実施 ・BrandLift調査・来訪計測調査により、ユーザーに対し興味関心の増加が見込めるかどうかの可視化を図る		
事業概要・ 主な経費	○国内向けSEO対策（WEBサイト内新規コンテンツ作成）、トレンドに合った縦型動画の新規作成、BrandLift調査、来訪計測調査によるデジタルプロモーション ・デジタルプロモーション（委託料）17,028千円 ・デジタルマーケティング（委託料）4,562千円 ○インバウンド向けWEBサイトコンテンツの追加、動画制作、広告配信 ・デジタルプロモーション（委託料）16,500千円 ・デジタルマーケティング（委託料）4,263千円 ※経費内訳はR6年度事業費		
KPI	①観光消費額（+301億円） ②観光入込客数（+5,438千人） ③インバウンド宿泊客数（+116,512人） ④LPエンゲージメント率（+195%） ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値		
		関連URL	調整中



事業概要【三笠市郷土文化魅力創出・発信事業】

推進当初

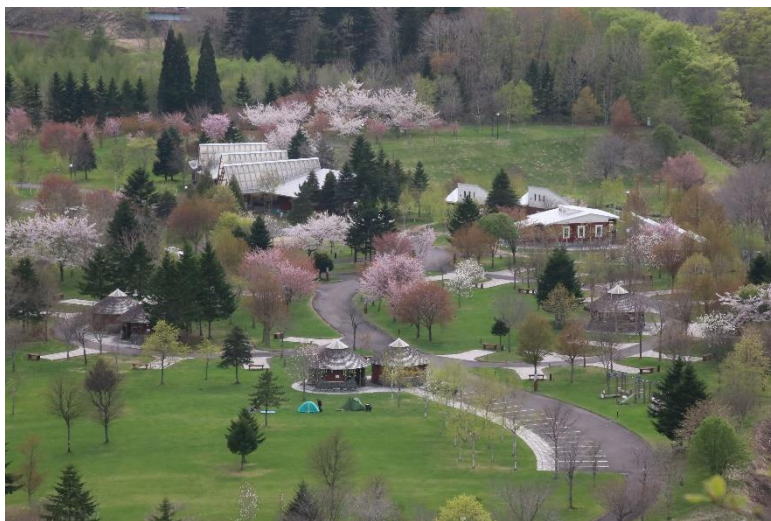
申請者	北海道三笠市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	65,049千円 (39,209千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・北海盆唄発祥の地としての特色を生かし北海盆おどりを題材としたドラマを制作および宣伝・上映を行い郷土文化の振興を図る。 ・北海盆おどり並びに三笠市自体にも興味を持っていただき、地方への人の流れを創出を図る。 ・郷土文化保存につながるように若い世代にも情報発信及び普及促進を図る。 ・地域が一丸となってフィルムコミッション的活動に取り組み、外部へのPRのみならず、地元の魅力の発見・再認識の機会を自らで創出し、シビックプライドの醸成を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○市民の機運醸成事業 ・北海道放送株式会社によるドラマ制作に伴う側面的支援に要する経費（委託料）7,865千円 ○上映会実施事業 ・ロケ地巡りMAP作成(委託料) 357千円 ・ドラマ制作記念イベントの実施(委託料) 11,000千円 ・三笠市PR用DVD制作(委託料) 3,850千円 ○盆おどり魅力増加事業 ・郷土文化の普及啓発に向けたイベント「三笠北海盆おどり」の拡充（補助金）16,117千円（使用料）20千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+0.3%） ②三笠北海盆おどり入込客数（+600人） ③ロケ地巡りMAPの頒布数（+7,000部）		関連URL 調整中

事業概要【登別観光産業高付加価値化事業】

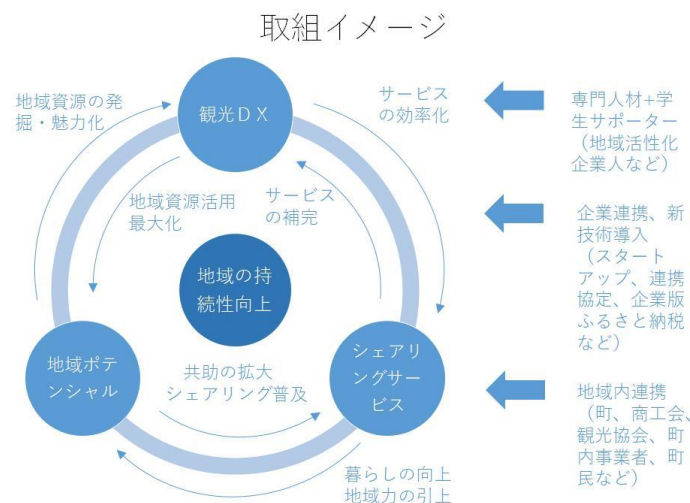
推進当初

申請者	北海道登別市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	26,500千円 (13,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・深刻化する人手不足の現状において、より少ない人員、より高い付加価値を生み出していくために「SDGs」や「ウェルネス」的な観点を含め、雇用のあり方や働き方、デジタル化・DXによる労働生産性の向上を図る。 ・人手不足の解消を図るため、賃金を向上させ、離職率を低下させていく取り組みを実施する。 ・観光需要エリアの平準化を図るため、外国人観光客や道外からの誘客促進に取り組む。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○顧客を創造するエリアマーケティングとビジョンの策定 ・データを活用したエリアマーケティング（委託料）7,500千円 ○観光事業者の人手不足を解消するための宿泊施設の稼働力を伴走型サポート ・人手不足対策のための稼働力の向上ワークショップ及び勉強会の実施（委託料）6,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①登別市における観光消費額（+111億円） ②宿泊単価の増加率（+1.5%） ③観光客入込数（+2,172千人） ④国内宿泊客数の道外客の割合（+4.2%）		関連URL https://www.city.noboribetsu.lg.jp

申請者	北海道厚沢部町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	20,842千円（10,412千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・コンビニ多機能化に対応する人員の配置により、新規雇用による定住人数を獲得する ・宅配サービスを展開することで、買物難民の解消及び高齢者の見守り体制を構築する ・再生可能エネルギーや蓄電池の活用により電気料金の削減し事業性を高めつつ、地域防災拠点としての機能を拡充する ・町の健康づくり事業で付与するポイントをコンビニで活用できる体制を構築し、町民の健康増進を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○宅配と見守り体制が連動した体制作りに向けた実証実験を実施 ・車両リース（借上料）720千円 ・人材確保（委託料）3,000千円 ・見守り体制構築（需用費）600千円 ○防災拠点機能拡充に向けた防災訓練用資材及び発電機の購入 ・防災訓練用資材購入（需用費）200千円 ・発電機購入（備品購入費）300千円 ○健康づくり事業との連携体制の構築及びポイントカードの導入 ・ポイントカード導入費用（需用費）200千円 ○本事業の推進主体である協議会運営経費 会議開催費220千円、事務費50千円、研修事業費350千円 ○エネルギー削減に向けたアドバイザー配置に係る費用 ・アドバイザー配置（報償費）3,600千円 ○消費電力削減に向けた照明のLED化 LED化経費1,172千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①新規雇用による定住人数（+3人） ②販売額（+7,000千円） ③宅配サービスの利用回数（+450回） ④脱炭素を通じた経費削減（+1,000千円）	関連URL	調整中

申請者	北海道厚沢部町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	166,392千円（91,404千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・既存の観光資源の魅力を向上させることで、観光を通じた農業振興及び地域活性化を図る ・自然と一体となったアクティビティを創出し、道外・国外からの旅行客の体験型観光の需要に対応する ・メークイン発祥から100年を迎えることを契機としたイベントや商品開発を実施し、農作物の販路拡大を実現する ・農業体験を付加した観光を提供することで、新たなニーズを創出し、観光客獲得に向けた取組を推進する		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○道の駅の改修に向けた設計や基本構想の策定 ・基本設計（委託料）9,746千円 ・実施設計（委託料）28,930千円 ・基本構想策定（委託料）7,249千円 ○うずら温泉・オートキャンプ場の魅力向上事業 ・経営アドバイザーの派遣費用3,520千円 ・イベント開催費3,100千円 ・アクティビティ創出事業3,491千円 ・カーサイトシンク給水管増設工事費9,590千円 ○販路拡大に向けたトップセールス活動 ・プロモーション事業（旅費）200千円 ○夢現プロジェクト実行委員会補助金 ・官民連携団体の実施する観光振興事業費 25,578千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+36,560千円） ②観光施設の収支改善額（+10,000千円） ③入込客数（+7,176人） ④新規雇用数（+3人）	関連URL	調整中

申請者	北海道ニセコ町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	239,422千円 (60,501千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・観光業を中心とした産業DXの推進 ・シェアリングサービスの積極的活用 ・地域ポテンシャルの引き上げ ・上記3つの取組による地域の持続性向上		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○観光業をフックに地域産業のデジタル化を推進する。 ・デジタルマップの活用（補助）3,000千円 ・エッジAIカメラの活用（委託料等）4,183千円 ○シェアリングサービスを導入し、地域で不足する交通・人材を補完する。 ・カーシェアリング（使用料等）2,320千円 ・タクシーシェア（負担金）7,844千円 ・人材、雇用等シェア（補助金）6,500千円 ○地域資源の発掘磨き上げを行い、観光地としての魅力向上を図る。 ・地域資源開発・商品化、観光拠点機能強化（委託料）15,280千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+37億円） ②商工会会員数（+9会員） ③カーシェアリングサービス利用件数（+400件） ④ふるさと納税件数（+450件）	関連URL	http://www.town.niseko.lg.jp/chosei/jichi_saisei/



申請者	北海道古平町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	51,000千円（15,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・強い産業づくりを担う人材や事業者を持続的に生み出し、産業と雇用の創出を実現し移住定住者の増加を図る。 ・経済を回していけるようなローカルスタートアップ°やその候補人材を発掘・育成する基盤を構築し、継続的にローカルスタートアップ°等を創出・輩出する流れをつくる。 ・継続的にローカルスタートアップ°を創出することで循環型の地域経済が機能する持続可能な町を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①官民連携による事業推進体制の構築（委託）：3,344千円 ・連携推進体の準備、構築 ・事業拠点の設置、運営 ②首都圏人材の発掘・獲得（委託）：7,124千円 ・首都圏でのリクルートやスカウト、ローカルスタートアップ候補獲得活動 ・ローカルスタートアップ候補募集広報 ・情報発信Webサイト、広報用素材制作 ③伴走型育成支援（委託）：1,540千円 ・基礎知識習得プログラム（OFF-JT型）の設計・実施 ・ビジネス構想づくりプログラム（OJT型）の設計・実施 ④事業推進事務局（委託）：2,992千円 ・事務局運営	事業概要 発掘 ローカルスタートアップ候補 (首都圏・都市部) リクルート 官民連携体制 ※ローカルスタートアップ創出推進 地域課題の提供 地域資源の開放 事業運営主体 ※事業事務局 ふるびら ローカルスタートアップ 育成・創出 地域ベンチャー 例) インバウンド観光 (観光DMC) 地域プレーヤー 例) 地域商社 (資源商品化) 商品・サービス 提供 PR ビジネスマーケット 広報	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+120人） ②ローカルスタートアップ°数（+9人） ③ローカルスタートアップ°候補数（+27人） ④首都圏・都市部からのポテンシャル人材獲得数（+50人）	関連URL	調整中

事業概要【世界に誇る美酒と美食のまち、よいちガストロノミーツーリズムプロジェクト】

推進当初

申請者	北海道余市町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	172,468千円 (54,550千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・一次産業の生産力強化及びデジタル技術の導入による作業の効率化を図る ・食関連コンテンツ（食・酒・歴史）を有機的にストーリーとして結びつけて高付加価値化された商品の造成、PRを図る ・酒蔵やレストラン、文化施設における環境整備を進め、特に富裕層や近隣のニセコ圏に滞在するインバウンドの誘客促進を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○食資源生産力の強化に資する整備 ・農水産資源の生産力強化に要する経費（補助金、委託料） 22,491千円 ○食文化形成にかかる有識者の招聘及び情報発信 ・情報発信媒体掲載料（報償費、委託料） 5,200千円 ○富裕層の観光地として受け入れる体制構築 ・環境整備のほか、旅行商品及びインバウンド向けプロモーションの実施（補助金） 13,000千円 ○文化施設等におけるイベントの開催 ・イベント開催費用（負担金） 4,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+184.3億円） ②年間宿泊客数（+80,900人） ③ふるさと納税寄附件数の増加（+126,792件）	関連URL	https://www.town.yoichi.hokkaido.jp/chousei/jouhou/machihitoshigoto/index.html

事業概要【子どもをまんなかにつながる「東川スタンス」拡大プロジェクト】

推進当初

申請者	北海道東川町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	217,800千円（69,454千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・東川町で子どもをまんなかに自分らしい豊かな暮らしを望む人の移住定住による人口の維持増加 ・若い世代が安心して暮らし、希望する人が子を産み育てていける町づくりによる出生数増加 ・ワークライフバランスに配慮した女性が子育てをしながら働ける環境整備による町民所得額増加 ・子どもや若者との交流による高齢者の健康寿命の延伸 ・地域で子どもを育てる取組みによる地域コミュニティ機能の向上と地域プライドの醸成、Uターン促進		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	子どもまんなか「東川スタンス」イメージ 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口（+120） ②年間の出生数（+27人） ③町民の一人当たりの平均所得額（+350千円） ④要介護（要支援）認定者の出現率（▲2.1） 関連URL https://higashikawa-town.jp/		

76

申請者	北海道美瑛町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	265,871千円(113,371千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	通年の観光客の増加、滞在型観光の推進による宿泊者数の増加、それらの効果による地域経済の活性化や雇用の創出、転入者数の増加を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○滞在型観光の推進 ・白金エリアにおける観光の拠点となる施設の整備（39,319千円） ・町内2か所の道の駅における運営コンサルティング（11,484千円） ・観光周遊バスの運行 ※対象経費なし ○冬期における観光客の呼び込み、白金エリアへの集客促進 ・人気観光スポットでのライトアップ事業（24,540千円） ・冬の新たな観光コンテンツであるスノーサイクルイベントの実施（2,500千円） ○オーバーツーリズム対策 ・青い池の駐車場管理（35,528千円）	 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①一人あたりの地域における観光消費額（+2,550円） ②観光客入込数（+600千人） ③宿泊者年間延べ数（+100千人） ④体験プログラム体験者延べ数（+1,250人）	関連URL	調整中

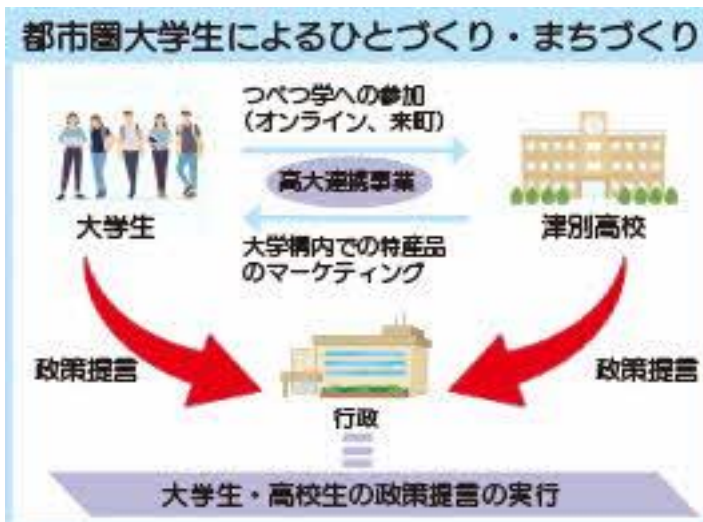
事業概要【空き家とDXを活用した関係人口創出事業】

推進当初

申請者	北海道中川町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	49,993千円 (20,392千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・空き家とDXを活用した関係人口の創出と空き家の解消 ・既存住民と都市住民等の交流による地域コミュニティの構築 ・地域資源を活用した空き家改修による地域経済循環の創出 ・事業を通じた地域電子通貨の試験運用によるDX化の推進		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○拠点開発事業 ・拠点管理業務（委託料）1,900千円 ○魅力創出事業 ・DIYワークショップ開発業務（委託料）792千円 ○システム開発事業 ・システム開発業務（委託料）6,952千円 ○空き家改修事業 ・空き家のADDRESS住宅化（工事請負費）7,000千円 など 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+3件） ②本事業による関係人口の増加（+300人） ③ADDRESS住宅の登録件数（+5件） ④街守の登録件数（+5件）	関連URL	調整中

事業概要【都市圏大学生によるひとづくり・まちづくり事業】

推進当初

申請者	北海道津別町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	7,500千円（2,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・高校生と大学生が、イベント参加時や恒常的なSNS等で本事業の取り組みのPRを行うことで関係人口・交流人口の拡大を図る。 ・高大連携事業を通して、大学生と高校生相互にスキルアップを図り、次世代を担う人材育成を図る。 ・本事業を通して関わりの持った高校生と大学生が継続的に関係を持つことで、将来的なU I Jターン増加を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	都市圏大学生によるひとづくり・まちづくり  つべつ学への参加 (オンライン、来町) 大学生 津別高校 高大連携事業 大学構内での特産品のマーケティング 政策提言 行政 大学生・高校生の政策提言の実行 ○外部人材招聘に係る来町経費 ・現地調査（高大連携事業含む）に係る経費 ・報告会に係る経費 計 1,900千円 ○高校生と大学生のマーケティング実践に係るイベント実施費 計 500千円 ○報告会に係る費用 ・SNS配信料など 100千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①・・・地域への移住者数（UIJターン数）（+13人） ②・・・（仮称）つべつファン登録者数（+70人） ③・・・津別高校卒業生の地元就職率（+7%） 関連URL （交付金の具体的使途・実施体制及び効果検証） https://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/choseijoho/chihososei/1702.html		

7

申請者	北海道安平町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	162,506千円 (46,114千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	デジタル人材の育成の考えを踏まえながら、子育て中の女性の就労が可能となる働き方の導入等により、仕事と子育てを両立し、安心して出産し子育てできる就労環境を提供すること。また、若年層が働きたいと思える就労場所の確保など「子育て・教育」環境の魅力化と新しい働き方を提供できる本当の意味での移住定住につなげる。こうした取組みを通じて、デジタル技術を活用した便利で快適に暮らせるまちの実現を目指すもの。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	女性や若年層の活躍をさらに推し進めるため、子育てと仕事を両立することができ安心して出産し子育てできる就労環境の提供、若年層が働きたいと思える就労場所の確保、これら取組みを安平町の新たなブランドとして定着させるためのブランディングと町内外へのプロモーションを推進していくために必要な取組みを、「あびらスマートワーク推進プロジェクト」として展開し、推進していきます。 ●スマートワーク産業育成事業及び企業誘致推進事業 ・リスキリング事業（短期プログラム）（委託費）4,230千円 ・リスキリング事業（長期プログラム）（委託費）9,876千円 ・サテライトオフィス誘致・事業誘致推進事業（委託費）10,829千円 ●ブランディング推進事業及びシティプロモーション事業 ・地方創生推進シティプロモーション事業（委託費）12,984千円 ・安平町ブランディング事業（委託費）8,195千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+30人） ②デジタル人材育成・確保数（+45人） ③企業進出相談件数（+45件） ④デジタル技術の町内事業者等への還元件数（+5件）	関連URL	https://www.town.abira.lg.jp/gyosei/sogo-keikaku/second-plan/35

リスキリングとは



労働者視点
デジタル化により新しい職業や仕事の進め方が大幅に変わる職業につくためのスキル習得



企業の視点
デジタル技術を使いながら価値創造できるよう、多くの従業員の能力やスキルを再開発する

OJT(On-the-Job Training)

- ・社内の「いまある」部署の「いまある」仕事を通じて、やり方を覚え、スキルを獲得してもらう教育

リスキリング

- ・社内に「いまない」仕事、「いま、できる人がいない」仕事のための新たなスキルを獲得すること

ツギノジダイ「リスキリングとは、DX時代の人材育成になぜ必要？ OJTとの違いも」より引用
<https://smbiz.asahi.com/article/13978145>



事業概要【恐竜ブランドを活かした過疎地域のクリエイション（創生）プロジェクト】

推進当初

申請者	北海道むかわ町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	41,843千円（15,643千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	- むかわ町の関係・関心人口を増やしまちの賑わいに繋げるため、デジタル技術と恐竜・化石を結びつけたプロモーションを実施する。 - 恐竜化石を活かしたまちづくりを持続していくために、関係・関心人口の訪町につながる周遊コンテンツを実施し、地域内での観光消費を促進し、地域経済の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	◆ デジタル技術を活用した「恐竜のまち」プロモーション・イベント開催経費（委託料）：8,485千円 ◆ デジタル技術を活用した周遊コンテンツ創出 ・恐竜化石発掘体験を中心とした周遊コンテンツの実施経費：6,031千円 ・携帯電話等ネットワーク圏外でも活用できるデジタル音声ガイドの開発・試行：1,127千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①プロモーション事業の来場者数（+900人） ②観光コンテンツの参加者数（+140人）		関連URL http://www.town.mukawa.lg.jp/

申請者	北海道上士幌町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	87,007千円 (31,140千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・都市部からの人の流れを加速させ、関係人口を創出し、企業（起業）誘致と、将来的な移住を促すため、テレワーク・ワーケーションの受入体制を元地域おこし協力隊を中心に構築する。 ・ワークショップの開催により、これまで町と関わりを待たない層を呼び込む。 ・地域と都市部企業・個人が交流するきっかけをつくることで、新規ビジネス創出を図る。 ・PRイベントや助成により、テレワーク・ワーケーションによる来訪者を増加させる。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①アーティスト・イン・レジデンスによる地域活性化 ・ワークショップ開催経費（委託料）：4,266千円 ・デザイン/クリエイター人材誘致：1,808千円 ・展覧会開催（委託料）：1,725千円 ・1家庭1アートPJ（委託料）：1,875千円 ・遊休不動産利活用：318千円 ②町内生産者（事業者）と都市部企業・人材のマッチング ・逆参勤交代（委託料）：2,200千円 ・Farm to table上士幌の実施（委託料）：3,069千円 ・副業兼業マッチング：2,539千円 ③テレワーク・ワーケーションの推進 ・首都圏シェアオフィスを活用したPR関連経費：6,042千円 ・こども園留学の実施（委託料）：7,300千円    		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①移住者数(2拠点居住含む) (+15人) ②アーティストinレジデンス応募者数 (+22人) ③シェアオフィス利用者数 (+200人) ④都市部企業・個人と町内事業者のコラボプロジェクト (+5件)	関連URL	上士幌シェアオフィス https://www.kamishihoro.work/

事業概要【「農業王国めむろ」ブランドを活用した稼ぐ観光振興プロジェクト】

推進当初

申請者	北海道芽室町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	99,600千円 (35,340千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・本町の基幹産業である農業ブランド「農業王国めむろ」の地域ブランド化を進める ・2024年に予定されている日高山脈襟裳国立公園化を「新しい稼ぐ観光事業」で活用する ・観光拠点である新嵐山スカイパークにアウトドアを核とした事業を展開する ・地元住民向けの農業ツアー等により地元住民を巻き込んだ「農業王国めむろ」の地域ブランド化を進める		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○「農業王国めむろ」の地域ブランド化及び道内外へのプロモーション ・ブランド化構築委託 4,000千円 ・道外プロモーション 1,200千円 ・地域おこし協力隊が起業したNPOと連携したプロモーション 8,000千円 ○日高山脈襟裳国立公園化を見据えた観光プログラムの構築等 ・アウトドア事業強化 2,800千円 ・めむろまちの駅案内機能強化 1,000千円 ・案内機能強化に係る通信手段整備 1,000千円 ○国立公園化を見据えたアウトドアを核とした観光拠点到事業展開 ・ランドデザイン策定委託 10,000千円 ・人流データ活用 2,640千円 ○地元住民を巻き込んだ「農業王国めむろ」ブランドのPR ・子ども向け農業体験、住民向け農業関連ツアー 2,800千円 ・地元住民（子ども）による友好都市交流におけるPR 1,600千円 ○地元農産物を活用した新商品や新メニューを開発への支援 300千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+1億円） ②「農業王国めむろ」ブランドを活用した観光プログラム・農業プログラム体験者数（+1,100人） ③道外プロモーション実施回数（+5回） ④新商品・新メニュー開発件数（+5件） 関連URL https://www.memuro.net/administration/soshiki/seisaku/hyouka/gyousei-hyouka/index.html		

申請者	北海道更別村	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	96,900千円 (32,168千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	目指す将来像＝更別村版共助社会構築事業 過去の更別村では皆が一つの「円」で共同意識が強く、苦労も多い分だけ近隣の人々との密接なつながりがあった。しかし、現在ではライフスタイルの多様化により選択肢が増え、それぞれが小さな「円」(縁)に閉じるように生活をしている。高齢者をはじめとした住民が生活に不安を抱くことになってしまっているため、必要に応じてつながり合うことのできる適度な関係性を結び直し、「100歳までワクワク 世代を超えてみんなでつながり合う幸せな地域」の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	コミュニティナース普及・定着活動委託費：25,508千円 村内での勉強会や講演会、地域組織・企業との連携を通じ、多世代へのコミュニティナースの取り組みの周知・啓発活動を進め、本事業への関与者を増やす。 多世代交流事業委託費：5,580千円 各種イベント、行事への参加、これまでの村内での活動実績等を踏まえ、多世代の村民と接点を増やす。村民の多世代に関する課題やニーズ等のヒアリングを行い、多世代交流のイベント、講座、ワークショップ等を通じて、多世代交流事業の企画検討を行う。 関係人口の増加事業委託費：1,080千円 北海道外からのインターン生や視察等研修の受け入れ、道外での講演の実施等を通じて、更別村の魅力、更別村の取り組みを周知、受け入れ、関係人口の増加を行う 過去の更別村  ・皆がひとつの「円」で共同意識 ・苦労も多いが人々と密接な繋がり 現在の更別村  ・選択肢が増えそれぞれ好みの「円」に ・高齢者は生活に不安を抱えている 未来の更別村  ・コミュニティナースとデジタルによりそれぞれの「円」を大切にしつつ必要に応じて繋がり生活の不安が解消 - コミュニティナース		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数 (+9人) ②住民のウェルビーイングアンケートの「健康状態」の指標の増 (+6ポイント) ③商店街でのウェルビーイングプランの実現数 (+30件) ④村民コミュニティナースの登録者数 (+135人)	関連URL	https://www.sarabetsu.jp/gyosei/seisaku/sogo/supercity/

事業概要【村内外から人の流れをつくる交流促進事業】

推進当初

申請者	北海道更別村	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	49,500千円 (9,900千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・若い世代を中心にあらゆる世代の村内外の人々が『出会い』『交流』『居場所ができること』で人の流れの創出を目指す。 ・「村内外から人の流れをつくる出会いと交流事業」により特別な人間関係を結び交流を促進する。 ・「村内外から人の流れをつくるまちづくりエンターテインメント事業」により先進デジタル技術の活用の知見と出会いを創り起業・創業につなげる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	■ 村内外から人の流れをつくる出会いと交流事業 ① 更別村の特色のある料理づくりなどを通じた特別な人間関係の構築 ・双方で教え合い交流が生まれる料理教室の調査・計画・実証費用：600千円 ・JAさらべつと取り組む更別村の特産品を使ったメニュー開発の調査・計画・実証費用：600千円 ・FMラジオ局や道内雑誌を活用した更別村のPRとイベント周知に関する費用：1,100千円 ② 更別の既存ストックの利用方法の転換を行い魅力的な場所や交流機会の創出 ・官民双方の村内施設の使用方法的な宣材動画に関する費用：3,000千円 ・村内飲食店へのSNSの使い方講座の調査・計画・実証費用：300千円 ・リアルとオンラインで実施する村の未来を考えるデジタルスナックに関する調査・計画・実証費用：600千円 ■ 村内外から人の流れをつくるまちづくりエンターテインメント事業 ③ 先進デジタル技術を用いたエンターテインメントを介した新しい出会いの創出と知見の深化 ・ゲームを通じて実施するドローン体験会に関する調査・計画・実証費用：1,500千円 ・更別村の自然とコラボしたVR美術館に関する調査・計画・実証費用：2,200千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 当事業の関係人口構築による新規移住者数（+9人） ② 更別村の宿泊観光入込数（+33,133人） ③ 当事業による更別村の公共施設の施設予約件数（+90件） ④ 交流事業への村内外からの参加者数（+165人）	関連URL	https://www.sarabetsu.jp/gyosei/seisaku/sogo/supercity/



地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)

事業概要【北海道スペースポート整備事業】

拠点当初

※PFI活用

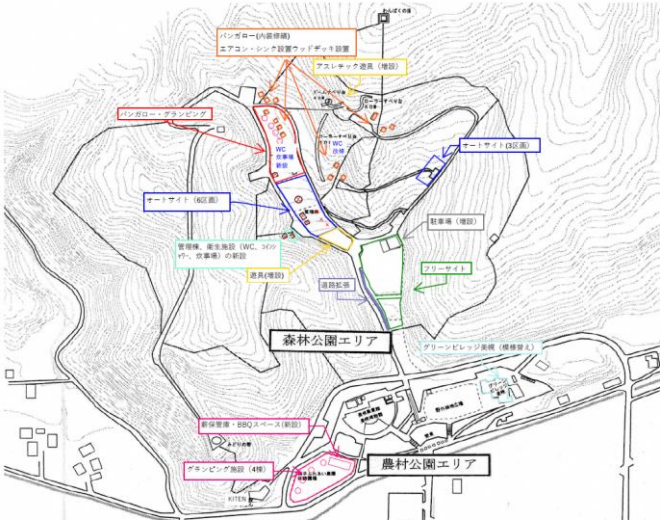
申請者	北海道大樹町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	3,020,000千円 (680,000千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（当初予算分）	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	世界中のロケット製造企業が人工衛星を搭載したロケットを打上げることができるロケット射場及びスペースプレーン実験機や小型ジェット機等が着陸できるよう滑走路を延伸することで、地域にロケット製造企業・小型人工衛星製造企業・ドローン等のロボット製造企業、衛星データ利用企業、宇宙用部品製造企業等の航空宇宙関連企業の集積を図り交流人口・経済効果の増加等につなげる。		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR6年度事業費	世界中のロケット製造企業が人工衛星を搭載したロケットを打ち上げることができるロケット射場を、スペースプレーン実験機や小型ジェット機等が離着陸できる滑走路と併せて整備する。 また、ロケット射場に光通信ネットワークによる低遅延通信設備やセキュリティ設備を整備することで、ロケット遠隔打上時の遠隔操作システムの信頼性向上やセキュリティシステムの高度化を図る。 ○施設整備等の内容（設備整備・用地造成を除く） 組立棟の設備工事等 180,242千円 ○施設整備等の内容（設備整備・用地造成） 設備整備 389,608千円 用地造成 110,150千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①航空宇宙関連企業の進出数（+30社） ②航空宇宙関連雇用創出数（+300人） ③見学者・視察者等の数（+38,000人）	関連URL	https://www.town.taiki.hokkaido.jp/soshiki/kikaku/uchu/hokkaidospaceport.html



事業概要【美幌みどりの村再整備による滞在型観光推進事業】

拠点当初

申請者	北海道美幌町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の交付対象事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	997,953千円 (52,239千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（当初予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	本町における滞在型観光の拠点として、「美幌みどりの村」エリア一帯を再整備してエリアの価値向上に取り組み、地域資源を活用した新たな客層誘致を行うとともに、ワーケーションなど中長期的に滞在できる環境整備等の取り組みにより、観光振興の強化による地域経済の好循環や地域産業の活性化へ繋げ、更なる観光誘客と交流人口、関係人口の増加を図る。		
整備内容・ 利活用方策	新たな観光ニーズに合致した小規模グループ／家族層、また都市部からのワーケーション利用客をターゲットに美幌みどりの村一帯を滞在型観光拠点として以下の内容を整備し、地域における観光消費額の向上を図る。 オンラインツールを用いた予約システムにより混雑の緩和を図り、顧客の満足度向上させるとともに、オンラインチャットツールの導入により顧客のニーズに素早く対応する。 ・グランピングエリア整備 ・キャンプ場の再整備（オートサイトエリア整備、バンガロー改修等） ・グリーンビレッジ美幌の模様替え なお、令和6年度は以下の内容を実施する。 ○施設整備等の内容（設備整備・用地造成を除く） 【建築本體工事にに向けた各種設計】35,750千円 ○効果促進事業（ハード事業）の内容 【解体実施設計】8,360千円 ○効果促進事業（ソフト事業）の内容 【基本計画策定】8,129千円		
KPI	①地域における観光消費額（+102,883千円） ②観光入込客数（+23,317人） ③美幌みどりの村一帯の宿泊者数（+4,007人） ④美幌みどりの村でのワーケーション利用件数（+12件）		
		関連URL	http://www.town.bihoro.hokkaido.jp



事業概要【恐竜化石「カムイサウルス・ジャポニクス（むかわ竜）」を核とした持続可能な地域づくり事業】

拠点当初

申請者	北海道むかわ町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R7年度	期間中の交付対象事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,210,021千円 (254,546千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（当初予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	著しい過疎化や商業の衰退といった地域課題の解決と博物館のリニューアルによる人流の活性化を目指し、市街地を対象としたエリア再編を行い、過疎化が進む市街地の賑わいを取り戻し、住み続けられる持続可能なまちづくりにつなげていく。		
整備内容・利活用方策 ※経費内訳はR6年度事業費	博物館は学術・教育的役割と観光的役割を併せ持つことから、展示物やその内容については幅広い層を対象とした工夫が必要となる。そのため、施設整備に際しては、博物館としての学術性を担保しつつ、一般来館者が理解と関心を深めるためにデジタル要素の活用も必要である。何度も来たくなる博物館づくりが、持続可能な施設運営の核となることから、その魅力化のためにデジタル技術の活用を行う。 具体的には、カムイサウルスやティラノサウルス等の全身復元骨格レプリカの3Dデータ化により、博物館内でタブレット端末を用いたデータの拡大・縮小・回転を行い、様々な角度から恐竜の観察を可能にし、化石に対する理解の深化や博物館のコンテンツの魅力化を図る。また、3Dデータをインターネット上で公開し、世界中の化石ファンとのバーチャルツアーを可能とする。 ○施設整備等の内容（設備整備・用地造成を除く） 【建築本体工事】 244,353千円 ○効果促進事業（ハード事業）の内容 【外構工事】 10,193千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+65,517千円） ②年間来館者数（+69,256人） ③町内観光入込客数（+85,156人） ④恐竜イベント等の実施回数（+5回）	関連URL	http://www.town.mukawa.lg.jp



地方創生拠点整備タイプ (補正予算分)

申請者	北海道新篠津村	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	219,740千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	住民生活に不可欠な小売店施設を地域コミュニティ醸成に資する機能や地域産業である農業の魅力向上に資する機能を併せ持った多機能施設として改修し、買い物難民の増加を留め、地域コミュニティの活発化を推し進めることにより、地域の人口減少を増加に転じさせることを目的とした拠点とする。		
整備内容・利活用方策	小売店施設を改修し、地域製品の販売コーナーを設け、地域製品の付加価値を高める機能を発揮する。 設備を充実し、日常生活の要求にこたえる商品展開をする。 施設内に公衆Wi-Fiを整備した交流拠点スペースを設置、自由に参集利用可能なスペースを設けることで、地域コミュニティ活動機会を広く提供する。 デジタルサイネージを設置し、行政・生活・観光情報等の多様な情報を効果的に発信する。 小売店内に地域製品販売コーナーを設置し、地域製品の情報発信やPRを展開する。 ・建築本体工事：68,458千円 ・設備工事：119,578千円 ・内装及び備品等：31,704千円 スーパーマーケット店舗＋情報交流拠点 Sビレッジ47 ・情報拠点整備 ・交流拠点整備 ・小売店機能強化 地域PR 住民・来訪者等人流の増加 多様な情報取得 住民交流・コミュニティ醸成 地域を活性化させ生活利便性を高め、人口増加を実現する		
KPI	①人口（＋83人） ②地域製品販売コーナー売上額（＋2,400千円） ③交流スペース利用者数（＋23,910千人） ④小売店の売上額（＋20,000千円）	関連URL	https://www.vill.shinshinotsu.hokkaido.jp/

※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【「保育園留学の寮」整備事業】

拠点補正

申請者	北海道厚沢部町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	73,332千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	『「保育園留学」のさらなる拡大から『保育園移住』へ地続きにつなぐ』をテーマに、子育て世帯をターゲットとした、保育園留学専用の住宅を2戸整備し、保育園留学を柱とした関係人口の創出・拡大さらには移住人口創出を図ることを目的とする。		
整備内容・利活用方策	保育園留学専用であり子育て世帯向けの住宅を2戸整備し、都市部からの子育て層をターゲットに保育園留学用として運用を行うことで、関係人口創出・拡大による切れ目ない人の循環を図る。 ・保育園留学の寮整備費：60,432千円 ・外構設備整備工事費：7,332千円 ・Wi-Fi環境整備事業費：52千円 ・プロジェクト管理費：1,393千円 ・施設備品購入費：4,002千円 ・諸経費：121千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+5世帯） ②保育園留学の寮滞在日数（年間利用日数×延べ利用人数） （+1,720日） ②地元への経済流入額（+4,400千円） ④保育園留学の寮利用から移住に向けた相談件数（+13件）	関連URL	調整中

事業概要【南幌町観光施設整備事業】

拠点補正

申請者	北海道南幌町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	945,882千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	南幌温泉を天然温泉とサウナに特化し、ランニングコストを大幅に削減した観光施設にリニューアルすることで、ウェルネスツーリズム対応型施設としてのニーズも満たし、子育て世帯や高齢者、サウナー目線を考慮した魅力あふれる施設として、温泉利用客の増加を図るとともに、町内への周遊観光に寄与する観光拠点の要として活用していく。		
整備内容・利活用方策	2ヶ所（本館・新館）ある浴場施設を1つ（本館）に集約し、大露天風呂を新設、新館浴場はサウナ特化型施設とすることで利便性の向上とランニングコスト削減を図り、宿泊部屋の一部を洋室化、Wi-Fi環境の整備によりワーケーション施設としての機能を備える。 レストランの低床化と小上がり改修により高齢者及び子ども連れに対応。 自立走行型清掃ロボット、デジタルサイネージにより、スタッフの負担軽減とサービス向上にデジタルの力に対応する。 南幌温泉工事費：914,946千円 駐車場・Wi-Fi整備事業費：8,843千円 南幌温泉備品等整備費：22,093千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+110,000千円） ②施設利用者数（+72,000人） ③施設利用による収益（+55,244千円） ④南幌町の観光入込客数（+212,000人）	関連URL	https://www.town.nanporo.hokkaido.jp/



事業概要【福祉・介護分野における人材育成によるまちづくり事業】

拠点補正

申請者	北海道栗山町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	96,200千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	介護分野の中核を担う介護福祉人材を養成するため、栗山高等学校との連携をより強化・発展させるとともに、行政・専門学校・高校、そして産業界が緊密に連携・協働し、高・専一貫の教育プログラムの検証・改善を通して、本町の福祉・介護の人材確保に取り組んでまいりたい。		
整備内容・利活用方策	「総合的な探究の時間（栗山と福祉）」において、高校3年間、栗山町の福祉のまちづくりの背景、歴史を知り、地域の将来像を考えるとともに、福祉・介護の基礎的な知識・技術を学び、キャリア形成の方法を考え、卒業後は介護福祉学校での専門分野をさらに学び、介護福祉を实践する社会において、リーダーとなる人材、さらに高度なスキルを持って介護現場での中心的な役割としての介護福祉士を期待する。 施設内にてオンライン会議や情報発信のためのWiFi環境を整備し利用者の利便性向上を図るとともに、デジタルサイネージにより学校行事や町のイベント、災害情報等を効果的に発信する。 ・学生寮（増設）整備費：95,700千円 ・Wi-Fi及びデジタルサイネージ設置工事費：500千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（▲244人） ②栗山高校から町立北海道介護福祉学校及び福祉系大学進学者、介護事業所及び関連事業所への就職者数（+23人） ③町立北海道介護福祉学校からの介護分野への就職率（+500%） ④町立北海道介護福祉学校の入学者数（+21人）		関連URL https://www.town.kuriyama.hokkaido.jp



事業概要【沼田町クラフトビール工場整備事業】

拠点補正

申請者	北海道沼田町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	77,825千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	北海道内初の公設民営のクラフトビール醸造所となり、全国的に沼田町の取組みを発信できるとともに、クラフトビールによるまちづくりによる町内の食産業の活性化や新規参入事業者の誘致など、多様な食産業の展開と、観光客の満足度を上げる製品の獲得と、関係人口や交流人口の増加も期待される。		
整備内容・利活用方策	消費者や実需者のニーズに対応するため、小ロットでオリジナリティを出せる商品開発。 特産品開発だけではなく、クラフトビール起点で新たな産業の誘致や多様なステークホルダーとのコラボレーションにより、強いコミュニティ形成を醸成することができ、関係人口や交流人口の増加、地域の活性化と本町のような過疎地域でも若者を中心とした人の流れが生まれ、強い地域経済の礎となる。 稼働初期においてデジタル制御システムを導入し、醸造家を複数配置しなくとも安定した品質管理ができるようにしている。オンライン環境を活用し、全国からの受注拡大を図る。 ・施設整備費 39,094千円 ・付帯設備費 38,731千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+10人） ②クラフトビールの醸造量（+13,500ℓ） ③沼田町民オリジナルビールの開発数（+14品） ④オリジナルクラフトビールの認知度向上イベント数（+10回）	関連URL	https://www.town.numata.hokkaido.jp/



事業概要【津別町地域交流拠点施設整備事業】

拠点補正

申請者	北海道津別町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	393,976千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	津別町における地方創生を実現するために、まち・ひと・しごとの観点より地元産業の担い手確保、観光の誘致、移住・定住の促進をするため、その拠点となる施設を整備し、定住人口の維持・増加やこれまで取り込めなかった観光客等を取り込むことで、交流人口・関係人口の創出・拡大を図り移住人口を増加させるとともに定住人口の維持・増加に繋げていく。津別町に住み続けたい、働きたい、暮らしたいと思える活力あるまちづくりを目指す。		
整備内容・利活用方策	施設には移住支援窓口、イベント実施ができる多目的スペースを設け、その隣には町内で利用の少ないキャッシュレス決済、携帯端末ポイントシステムの普及のための買い物環境整備として、物販施設を併設する。この施設では、精算機能を備えたショッピングカートの導入など、デジタル技術を活かした「スマートストア」としての試験的運用も行い、デジタル技術に触れ、慣れ親しむことで、地元住民のデジタルリテラシーのボトムアップとデジタルが進む社会で高齢者が取り残されないまちを創りあげていく。 ・建築工事費：252,329千円 ・電気設備工事：60,929千円 ・機械設備工事：60,742千円 ・デジタルサイネージほか設備費：14,520千円 ・備品費：5,456千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の世帯数（+16世帯） ②施設利用者数（+120,120人） ③施設総売上額（+330百万円） ④施設での移住・定住相談者数（+570人）		関連URL https://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/soshikikarasagasu/juminkinkaku/16/885.html



事業概要【持続可能な地域をめざした未来指向のにぎわい創出事業】

拠点補正

申請者	北海道むかわ町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	392,868千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	人口減少に歯止めをかけ地域が抱える様々な課題の解決を目指し、地域の生き残りをかけて地域住民と観光客との相乗効果を最大限に発揮し、賑わいの創出・地域振興を図る場として「温浴カフェ」を建設する。		
整備内容・利活用方策	町民の交流の場・新たな観光客施設である温浴、飲食の複合施設を建設し、地域住民だけではなく町外からの多くの利用者を獲得する施設整備を進める。Wi-Fi環境の整備やキャッシュレス決済の導入により、利用者の利便性向上を図るとともに、デジタルサイネージによる施設案内等を行うことで業務の効率化を図る。 ○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】 建築工事費 216,057千円 【設計管理費】 5,821千円 【建築物と不可分な設備工事】 電気設備工事費 41,644千円、機械設備工事費 127,146千円 ○効果促進事業（ハード事業）の内容 【デジタルサイネージ等】 2,200千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口（+100人） ②施設の来場者数（+3,633人） ③入浴料収入（+4,398千円）	関連URL	http://www.town.mukawa.lg.jp



事業概要【道の駅「しほろ温泉プラザ緑風」施設再整備事業】

拠点補正

申請者	北海道士幌町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	987,000千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	士幌町が魅力的で楽しめる場として、またこれまでの観光振興事業の効果が薄いこと等により、定住意向や移住の動機づけとなる要素に欠けていることから、多様な人々や首都圏等と地域住民の「ツナガリ」を築き、士幌町への新しいひとの流れを創出する拠点施設として、道の駅「しほろ温泉プラザ緑風」を整備する。		
整備内容・利活用方策	士幌町下居辺地区にある観光拠点施設、道の駅「しほろ温泉プラザ緑風」は、町民利用ニーズと観光客ニーズに対応するとともに、新たな働き方への対応と合わせ誘客を高める施設機能の強化を主体に、施設従業員の省力化を考慮した導線や配置、地球温暖化対策の推進を考慮した機械設備の導入により持続可能な観光拠点施設として整備を行う。 通信環境の整備によりワーケーションにも対応でき、スマートチェックインによる省力化も図る。 ・道の駅整備費：987,000千円 ・客室改修：170,500千円（対象外） ・設備工事費（再エネ導入分）：65,500千円（対象外） ・太陽光発電設備費：507,000千円（対象外）		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+50,000千円） ②道の駅来客者数（+15,000人） ③道の駅売上額（+25,000千円） ④無料入湯券の配布数に対する利用率（+19%）	関連URL	https://www.shihoro.jp/ http://www.shihoro-spa.co.jp/



事業概要【道の駅しらぬか恋問移転改築事業】

拠点補正

申請者	北海道白糠町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	1,000,000千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	海岸沿線の立地を活かし、車中泊施設やサウナ施設など特色ある施設整備を行うことで、道の駅を観光資源へと変化させ年間75万人の利用を目指す。また、災害時には再生可能エネルギー等の活用により自立可能な避難施設とすることで国道38号に面する道の駅としての役割を担うとともに観光振興を図る。		
整備内容・利活用方策	地場産品を活用した特産品の開発や収穫祭などのイベントを行う。 キャッシュレス決済やPOSシステムの導入などデジタル技術を活用し、決済時の時間短縮による利便性向上を図るとともに、顧客ニーズを正確に把握した経営戦略による商品開発を展開することで売上と利用者数の向上を図る。 ・道の駅整備費 980,011千円 ・施設用備品 15,408千円 ・デジタル環境整備費 4,581千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額 (+373,412千円) ②観光入込数 (+267,751人) ③駐車機会損失台数 (+400台) ④圏域観光入込数 (+255,200人)	関連URL	http://www.town.shiranuka.lg.jp

